

工 事 名 : 観音地区下水道改築 6 - 4 1 号工事

工事場所 : 西区観音新町二丁目ほか 4 町

積算参考資料

(注)

(この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

広島市下水道局施設部管路課

積算参考資料

（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

提 示 項 目	提 示 事 項																																																		
週休2日関係	「設計業務委託等技術者単価」及び「清掃技師、清掃作業員、管路調査技師、管路調査助手、管路調査作業員、調査技師補、調査補助員」は労務費の補正対象としない。 令和6年8月15日以降適用の「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）（以下「要領」という。）別表2 下水道工事市場単価の補正係数」取付管及びます設置工については、以下の本工事に適用した補正係数で算出する。 ○要領(令和6年8月15日以降適用)の補正係数 別表2 下水道工事市場単価の補正係数（抜粋） <table><tr><th rowspan="3">名称</th><th rowspan="3">規格・使用</th><th colspan="4">補正係数</th></tr><tr><th colspan="2"><u>週休2日</u></th><th colspan="2"><u>週休2日交替制</u></th></tr><tr><th><u>通期</u></th><th><u>月単位</u></th><th><u>通期</u></th><th><u>月単位</u></th></tr><tr><td rowspan="2">取付管及び ます設置工</td><td>ます設置工</td><td>1.00</td><td>1.01</td><td>1.00</td><td>1.01</td></tr><tr><td>取付管布設及び 支管取付工</td><td>1.01</td><td>1.02</td><td>1.01</td><td>1.02</td></tr></table> ○本工事に適用した補正係数 別表2 下水道工事市場単価の補正係数（抜粋） <table><tr><th rowspan="3">名称</th><th rowspan="3">規格・使用</th><th colspan="4">補正係数</th></tr><tr><th colspan="2"><u>週休2日</u></th><th colspan="2"><u>週休2日交替制</u></th></tr><tr><th><u>通期</u></th><th><u>月単位</u></th><th><u>通期</u></th><th><u>月単位</u></th></tr><tr><td rowspan="2">取付管及び ます設置工</td><td>ます設置工</td><td>1.01</td><td>1.02</td><td>1.01</td><td>1.02</td></tr><tr><td>取付管布設及び 支管取付工</td><td>1.00</td><td>1.01</td><td>1.00</td><td>1.01</td></tr></table>	名称	規格・使用	補正係数				<u>週休2日</u>		<u>週休2日交替制</u>		<u>通期</u>	<u>月単位</u>	<u>通期</u>	<u>月単位</u>	取付管及び ます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.00	1.01	取付管布設及び 支管取付工	1.01	1.02	1.01	1.02	名称	規格・使用	補正係数				<u>週休2日</u>		<u>週休2日交替制</u>		<u>通期</u>	<u>月単位</u>	<u>通期</u>	<u>月単位</u>	取付管及び ます設置工	ます設置工	1.01	1.02	1.01	1.02	取付管布設及び 支管取付工	1.00	1.01	1.00	1.01
名称	規格・使用			補正係数																																															
				<u>週休2日</u>		<u>週休2日交替制</u>																																													
		<u>通期</u>	<u>月単位</u>	<u>通期</u>	<u>月単位</u>																																														
取付管及び ます設置工	ます設置工	1.00	1.01	1.00	1.01																																														
	取付管布設及び 支管取付工	1.01	1.02	1.01	1.02																																														
名称	規格・使用	補正係数																																																	
		<u>週休2日</u>		<u>週休2日交替制</u>																																															
		<u>通期</u>	<u>月単位</u>	<u>通期</u>	<u>月単位</u>																																														
取付管及び ます設置工	ます設置工	1.01	1.02	1.01	1.02																																														
	取付管布設及び 支管取付工	1.00	1.01	1.00	1.01																																														
見積単価	見積単価については、別添「見積単価一覧表」のとおり。単価は週休2日工事の補正がかかる前の単価である。 「見積単価一覧表」の資源区分『労務費』及び『機械賃料（2DaW）』は週休																																																		

	2 日工事の補正がかかる単価である。それ以外の資源区分については、週休 2 日工事の補正がかからない単価である。						
殻運搬（人力積込）	殻運搬（人力積込）の積算方法は下記 URL に代価表の算出方法を掲載しています。 URL： https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/koukyoujigyoku/399705.html						
諸経費関係	【積算上の工種区分、施工地域・工事箇所区分等】 <table><tr><td>工種</td><td>施工地域・工事場所区分</td><td>その他補正</td></tr><tr><td>下水道工事（4）</td><td>大都市（2）</td><td>別添 1 のとおり</td></tr></table>	工種	施工地域・工事場所区分	その他補正	下水道工事（4）	大都市（2）	別添 1 のとおり
工種	施工地域・工事場所区分	その他補正					
下水道工事（4）	大都市（2）	別添 1 のとおり					
スクラップ関係	マンホール鉄蓋取替工のスクラップについては、全間接費の対象外としている。						
安全対策関係	交通誘導員は積算参考設計書のとおり見込んでいる。 【人数は積算参考資料として提示、検査検収の対象外】						
モルタル練（1：2）の施工単価について	以下の施工単価については、「モルタル練（1：2）」を使用している。 ・ モルタル上塗り（配合 1：2） ・ 本管口仕上工@（製管工法） ・ マンホール底部仕上工@（製管工法） 「モルタル練（1：2）」については、土木工事標準積算基準書（令和 4 年 8 月）第Ⅱ編 第 4 章 1）コンクリート工の「4-2 モルタル練（1：2）」を適用する。 なお、標準単価及び積算単価等の適用については、以下のとおりとする。 <table><tr><td>項目</td><td>適用</td></tr><tr><td>標準単価等</td><td> ・ 令和 4 年度 施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 ・ 代表材料規格等の基準単価作成方法について（令和 4 年度 8 月適用分） </td></tr><tr><td>積算単価</td><td> ・ 該当する積算地区・積算年月 </td></tr></table>	項目	適用	標準単価等	・ 令和 4 年度 施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 ・ 代表材料規格等の基準単価作成方法について（令和 4 年度 8 月適用分）	積算単価	・ 該当する積算地区・積算年月
項目	適用						
標準単価等	・ 令和 4 年度 施工パッケージ型積算方式標準単価表 広島市 ・ 代表材料規格等の基準単価作成方法について（令和 4 年度 8 月適用分）						
積算単価	・ 該当する積算地区・積算年月						
取付管テレビカメラ搭載車損料について	取付管テレビカメラ搭載車の損料については、推進工事用機械器具等基礎価格表（建設物価調査会、経済調査会）及び下水道維持管理積算要領（日本下水道協会）に基づき算出している。						

月単位の週休2日工事に係る積算について

本工事は、月単位（4週間の期間内）で振替日の設定を行う「月単位の週休2日工事」であるため、以下の方法で積算を行っている。

「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により当初設計から月単位で4週8休以上であった場合の補正係数を乗じている。

なお、補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【機械経費（賃料）：1.02】

【共通仮設費率：1.03】

【現場管理費率：1.05】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、現場閉所状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

「週休2日交替制工事」の実施を希望する場合、契約締結後7日以内に、「週休2日交替制工事」の実施を希望する旨を発注者に書面で提出すること。

受理されれば、「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により「週休2日交替制工事」の補正係数により変更を行う。

なお、月単位の「週休2日交替制工事」補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.04】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【現場管理費率：1.03】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 月単位で4週8休に満たなかった場合、休日の取得状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0001	清掃技師 昼 1	人	R0610	27,580	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0002	清掃技師 夜 1	人	R0610	41,380	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0003	清掃作業員 昼 1	人	R0610	26,900	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0004	清掃作業員 夜 1	人	R0610	40,350	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0005	管路調査技師 昼 1	人	R0610	53,690	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0006	管路調査技師 夜 1	人	R0610	80,540	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0007	管路調査助手 昼 1	人	R0610	42,060	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0008	管路調査助手 夜 1	人	R0610	63,090	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0009	管路調査作業員 昼 1	人	R0610	23,370	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0010	管路調査作業員 夜 1	人	R0610	35,050	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0011	調査技師補 昼 1	人	R0610	42,060	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0013	調査補助員 昼 1	人	R0610	29,520	労務費(2 DaW)	全間接費の 対象	
TA0030	超速強性モルタル	袋	R0610	4,700	材料単価	全間接費の 対象	
TA0031	表層材 CL	袋	R0610	6,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA0032	円形カッター φ950mm	m	R0610	800	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0033	特殊機械損料	日	R0610	15,340	機械損料	全間接費の 対象	
TA0034	人孔高さ調整ボルト	組	R0610	5,400	材料単価	全間接費の 対象	

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0035	エンジンコンプレッサー 15PS ホースバンドブレーカー含む	日	R0610	6,570	機械損料	全間接費の 対象	
TA0045	無収縮モルタル用型枠	箇所	R0610	437	材料単価	全間接費の 対象	
TA0060	コンクリート夜間打設基礎料金	回	R0610	100,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0061	更生材料 #80S	m	R0610	2,420	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0065	製管機時間当り器具損料 M-2型	時間	R0610	7,440	機械損料	全間接費の 対象	
TA0066	製管機供用日当り器具損料 M-2型	日	R0610	26,000	機械損料	全間接費の 対象	
TA0067	油圧ユニット時間当り器具損料 17kw	時間	R0610	7,050	機械損料	全間接費の 対象	
TA0068	油圧ユニット供用日当り器具損料 17kw	日	R0610	24,700	機械損料	全間接費の 対象	
TA0069	融着機損料	供用日	R0610	15,800	機械損料	全間接費の 対象	
TA0070	支保材損料 2m/セット D<1m	セット	R0610	4,512	機械損料	全間接費の 対象	
TA0071	注入 鋼管パイプ 50 2B50A	本・日	R0610	57	材料単価	全間接費の 対象	
TA0072	注入 ビクトリックジョイント φ50mm	本・日	R0610	14	材料単価	全間接費の 対象	
TA0074	エア抜き 塩ビボールバルブ φ40mm	個	R0610	9,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA0075	注入 内部注入口	個	R0610	3,340	材料単価	全間接費の 対象	
TA0076	注入 T字管 チーズφ50	個	R0610	840	材料単価	全間接費の 対象	
TA0077	工事用高圧洗浄機 7.8MPa	日	R0610	1,440	機械損料	全間接費の 対象	

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

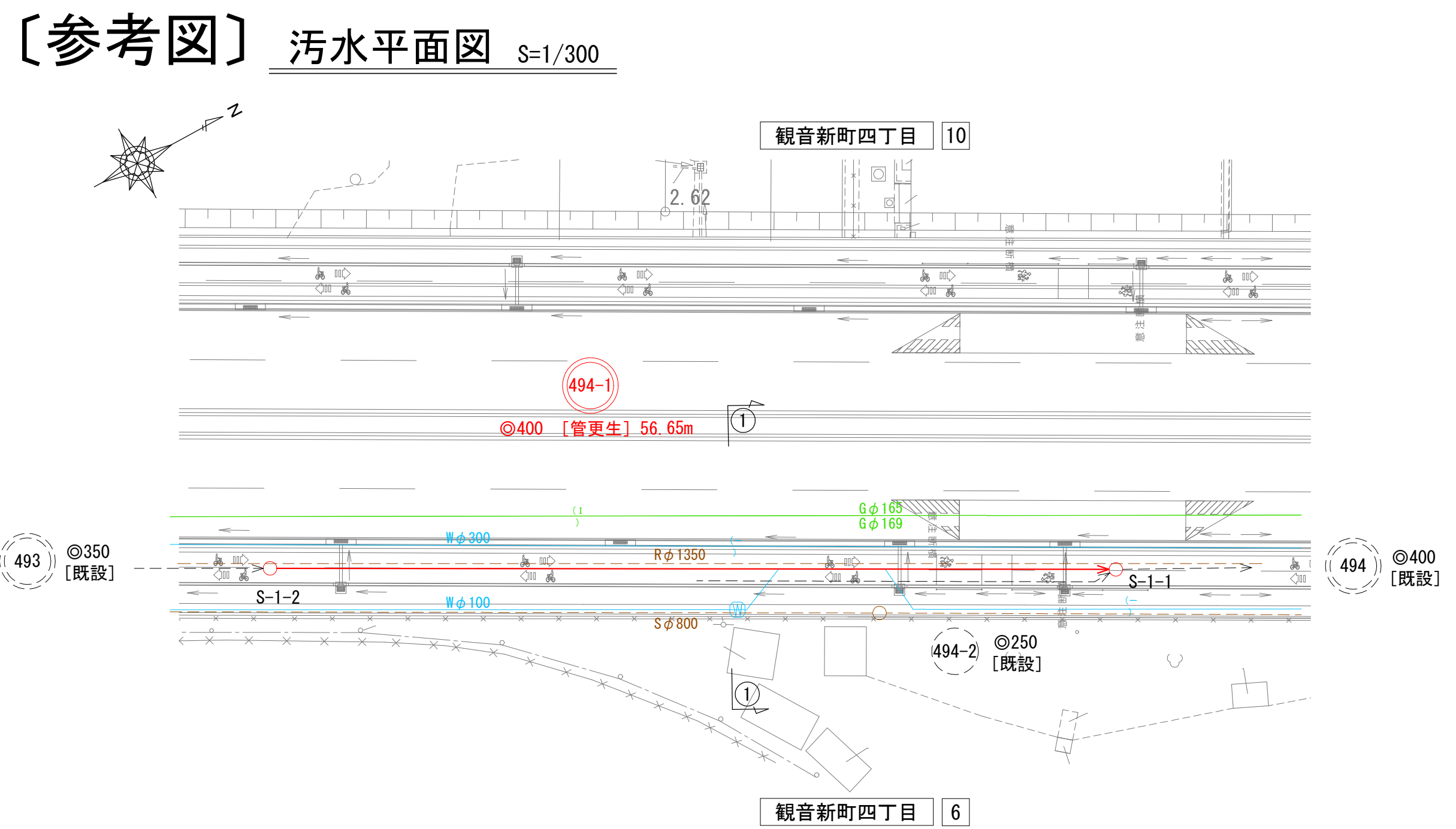
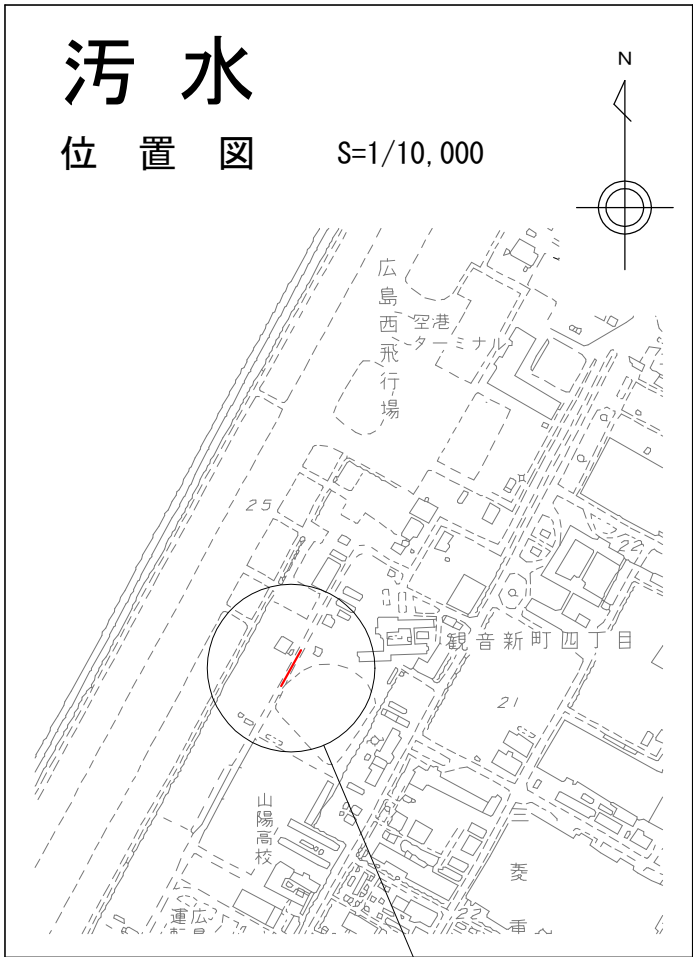
設計

写真

図番

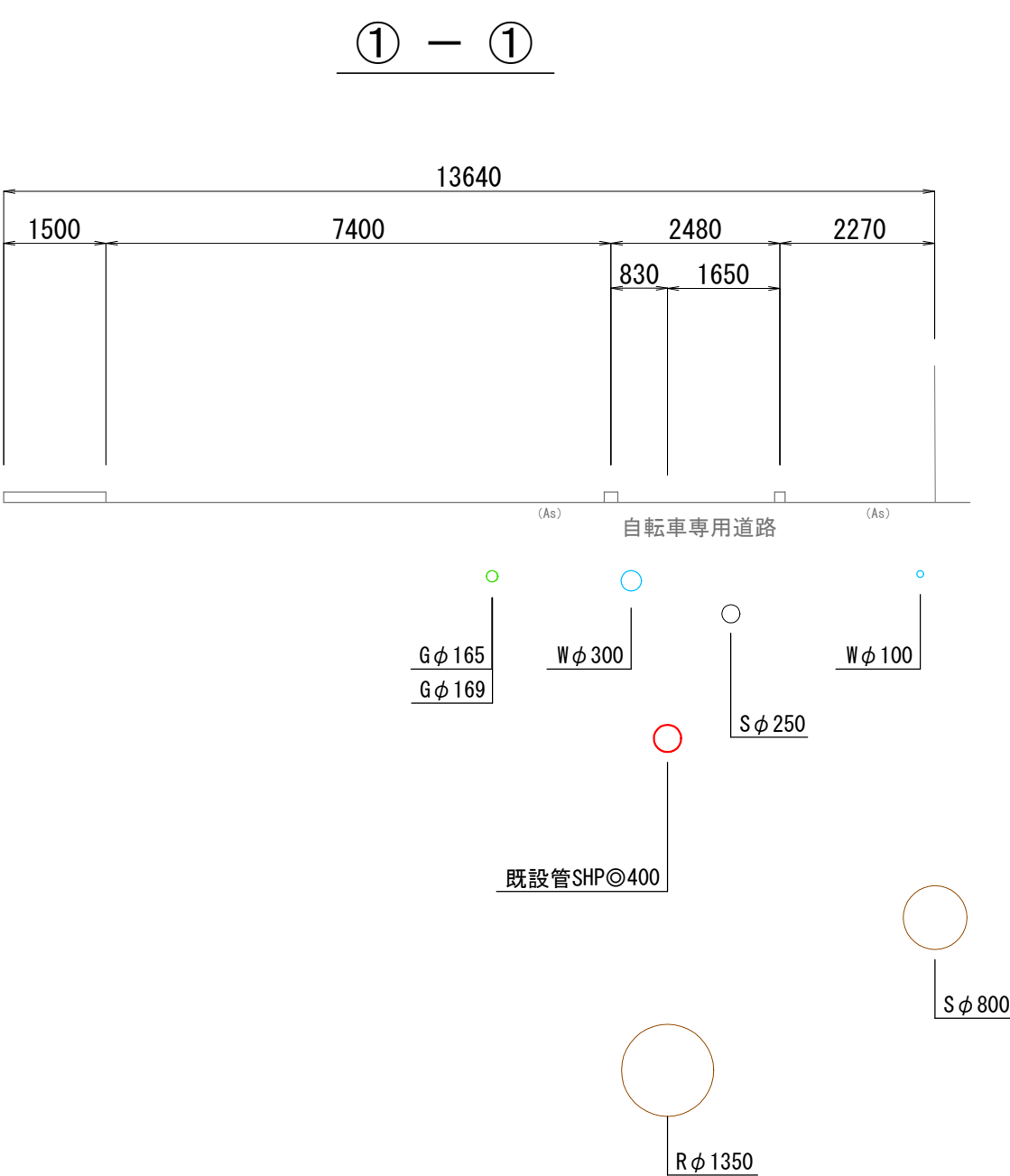
No. 1計

広島市下水道局施設部管路課



横断図

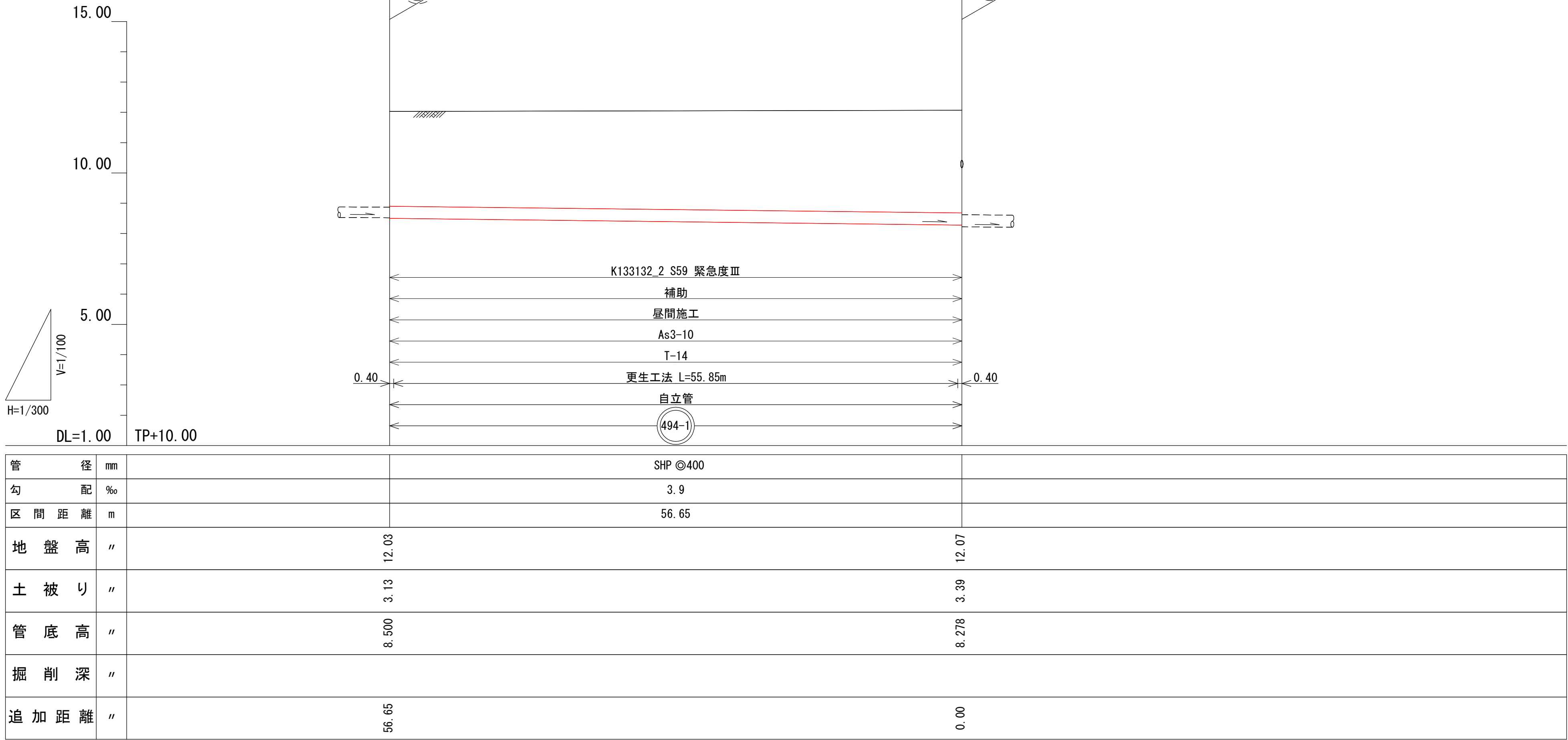
S=1/100



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	● 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	■ 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊙ 組立1号マンホール
⊘ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
□ 8号マンホール	⊙ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	● 掃 除 口
□ 角4号マンホール	⊙ 塩ビ製マンホール
⊗ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡 例	
——	汚水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++——	樹不明取付
⊗——	雨水取付 (既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T T ケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵 入	パッキン 除 去	侵入水 処 理	副管部 削孔工
S-1-1～S-1-2	—	—	1 (5cm) 1 (20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

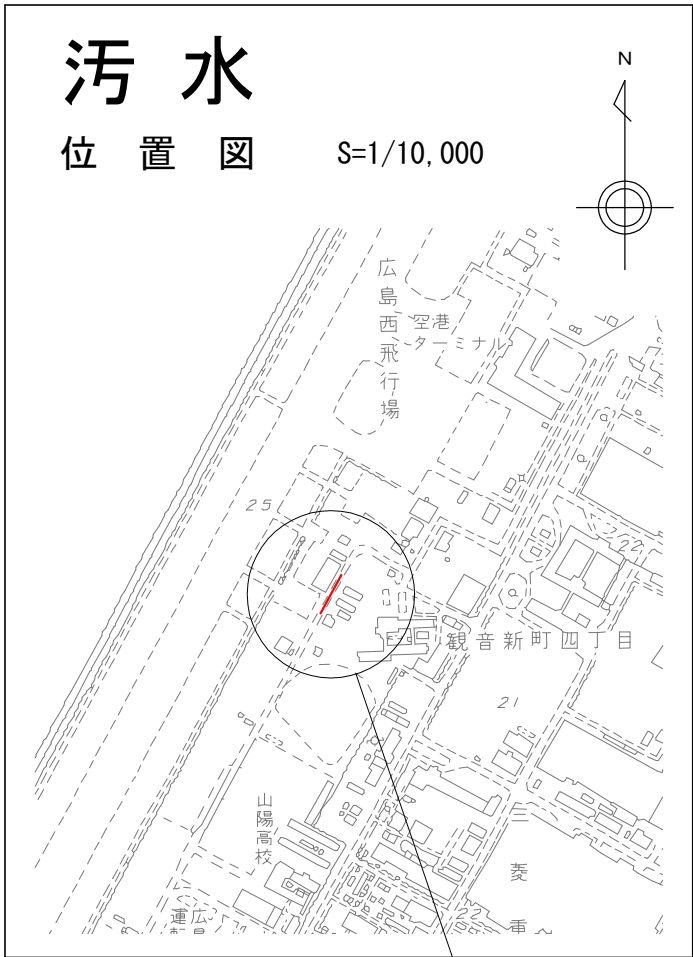
写図

図番

No. 2

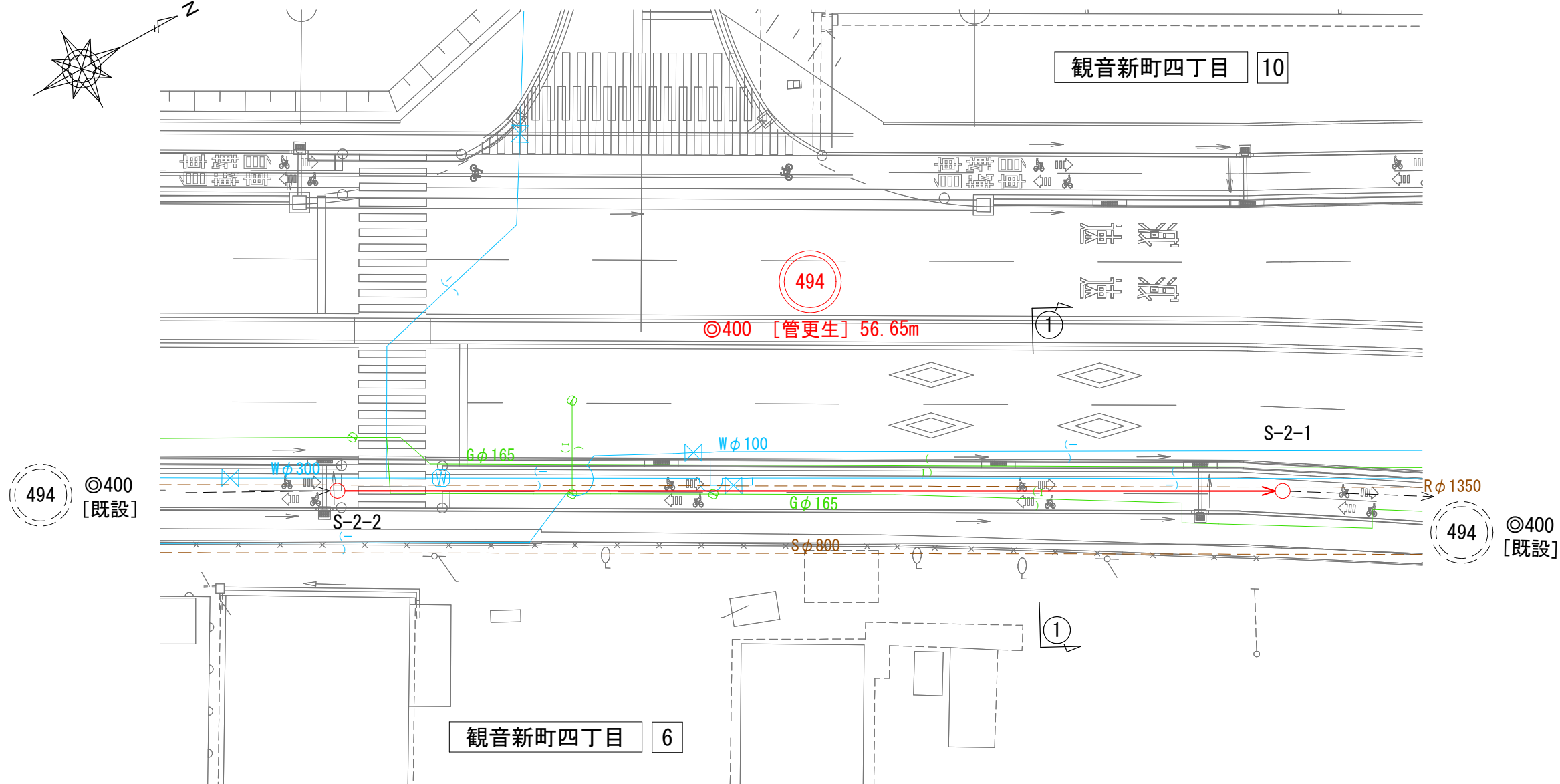
計

広島市下水道局施設部管路課



施工箇所

〔参考図〕 汚水平面図 S=1/300



縦断面図 V=1/100 H=1/300

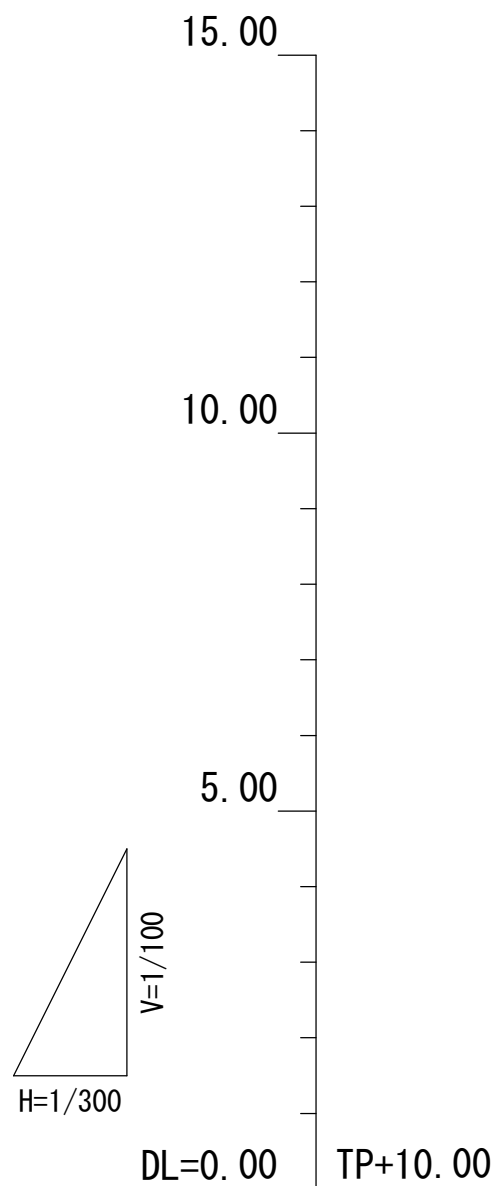
[マンホール補修B 足掛 N=101]
S-2-2 1号マンホール [既設]
◎400 +8.180が流入 [既設]

[マンホール補修B 足掛 N=101]
S-2-1 1号マンホール [既設]
◎400 +8.050へ流出 [既設]

補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○	1号マンホール
◎	2号マンホール
⊙	3号マンホール
⊖	4号マンホール
⊕	5号マンホール
⊗	6号マンホール
⊘	7号マンホール
⊙	8号マンホール
⊕	9号マンホール
⊗	角4号マンホール
⊘	角5号マンホール
●	特1号マンホール
⊙	特2号マンホール
⊕	特3号マンホール
⊗	特4号マンホール
⊘	組立0号マンホール
⊙	組立1号マンホール
⊕	組立2号マンホール
⊗	組立3号マンホール
⊘	掃除口
⊙	塩ビ製マンホール
⊕	特殊マンホール

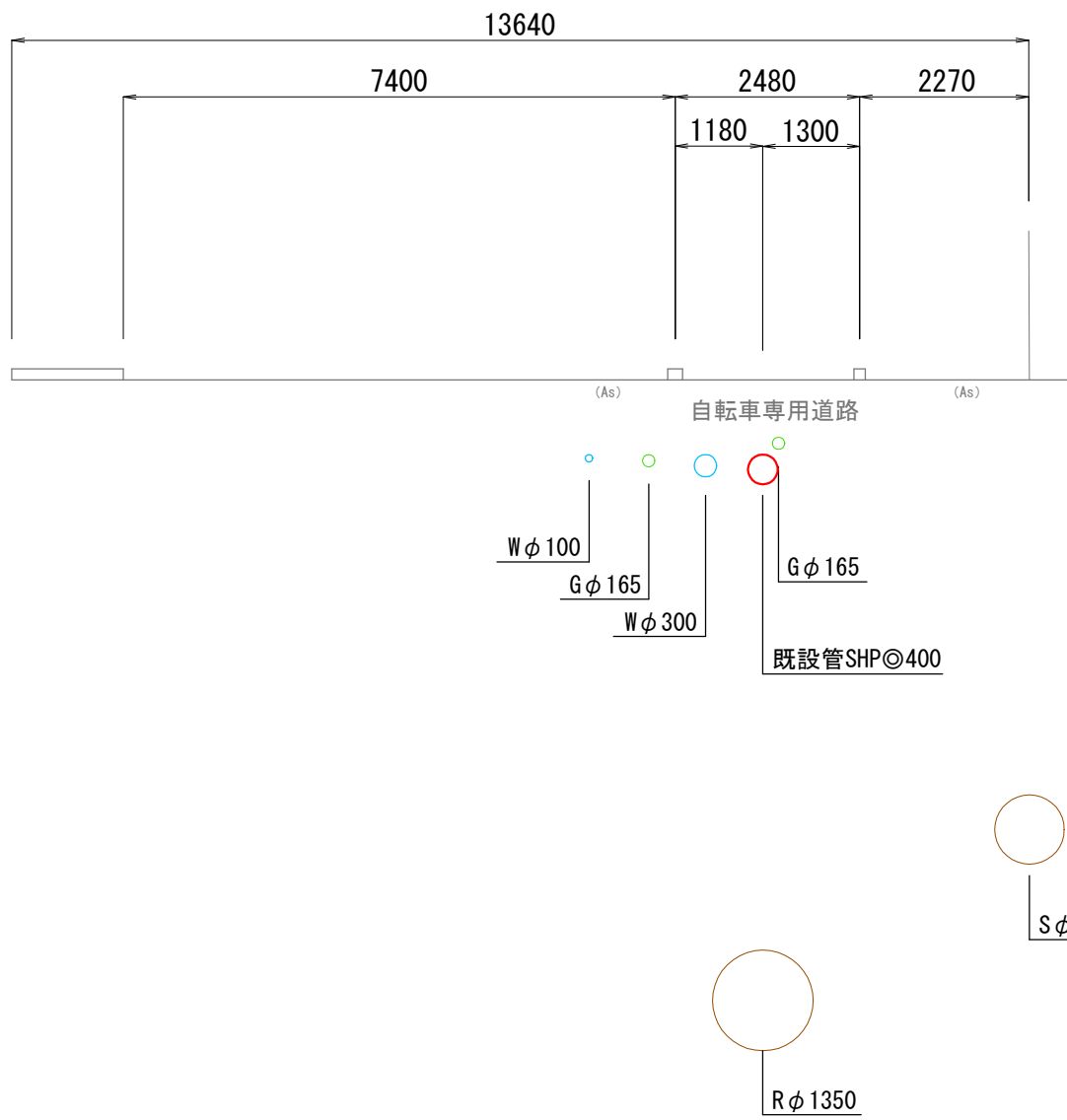
凡 例	
—	汚水実施
---	合流既設
---	汚水既設
---	雨水既設
---	汚水計画
---	雨水計画
—++—	汚水同一施工
—++—	雨水同一施工
++	樹不明取付
⊗	雨水取付 (既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
—(—)	水道管
—(1)	ガス管
—(N)	N T T ケーブル
—(+)	中電ケーブル
○—●	外副管
○—●	内副管



管	径	mm		
勾配	‰			
区間距離	m			
地盤高	″		12.09	11.93
土被り	″		3.52	3.45
管底高	″		8.170	8.080
掘削深	″			
追加距離	″		56.65	0.00

横断図 S=1/100

① - ①



- ※ 縮尺はA 1 出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示 (陶管), H表示 (ヒューム管), VU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バック除去	侵入水処理	副管部削孔工
S-2-1~S-2-2	—	—	1 (5cm) 1 (20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

写図

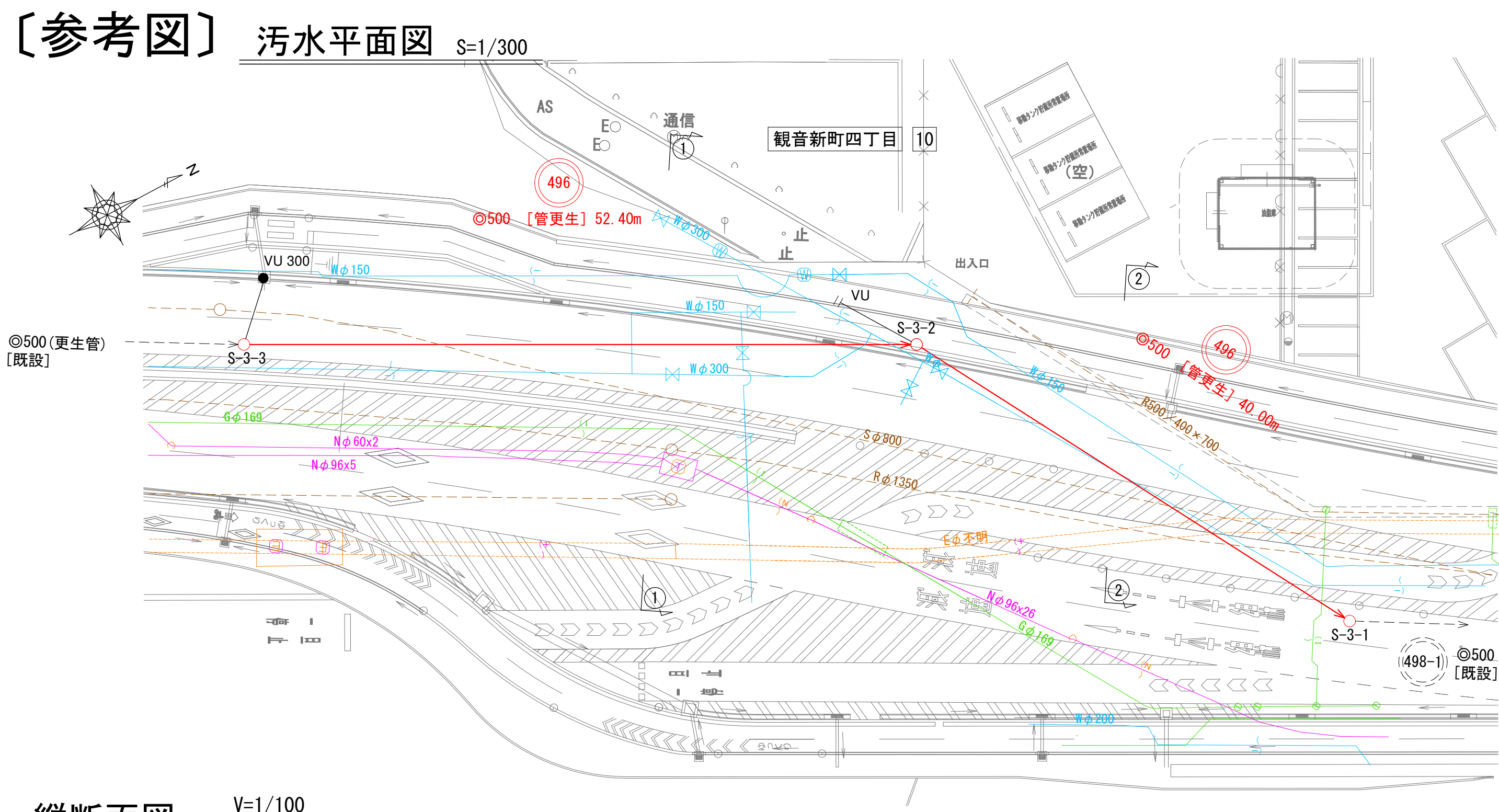
図番

No. 3

広島市下水道局施設部管路課



施工箇所



〔マンホール補修B 足掛 N=13〕
S-3-3 1号マンホール〔既設〕
◎500(管更生) +6.692が流入〔既設〕

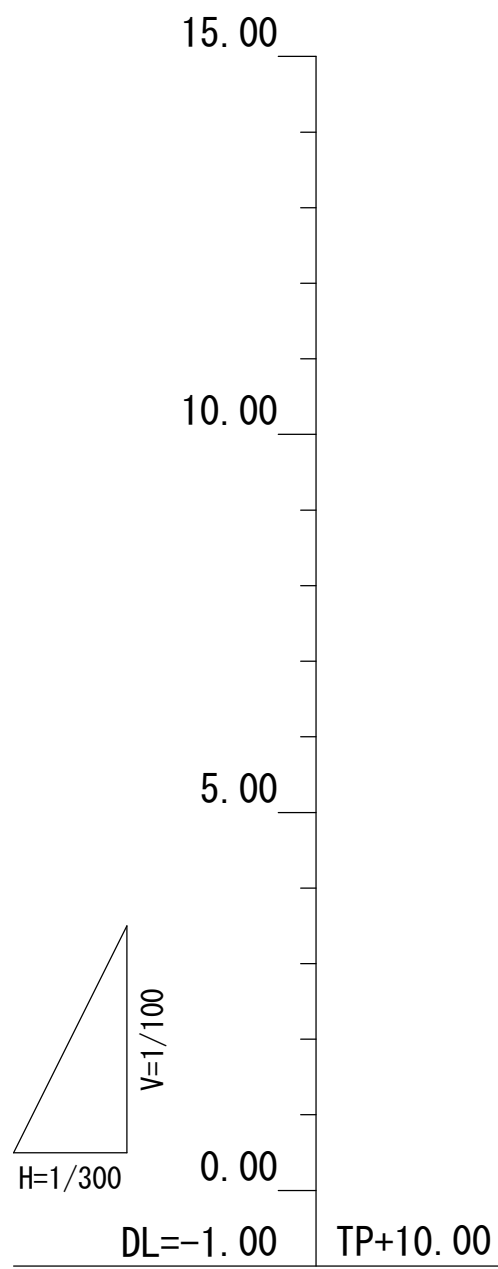
〔マンホール補修B 足掛 N=14〕
S-3-2 1号マンホール〔既設〕

〔マンホール補修B 足掛 N=15〕
S-3-1 1号マンホール〔既設〕
◎500 +6.290へ流出〔既設〕

補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

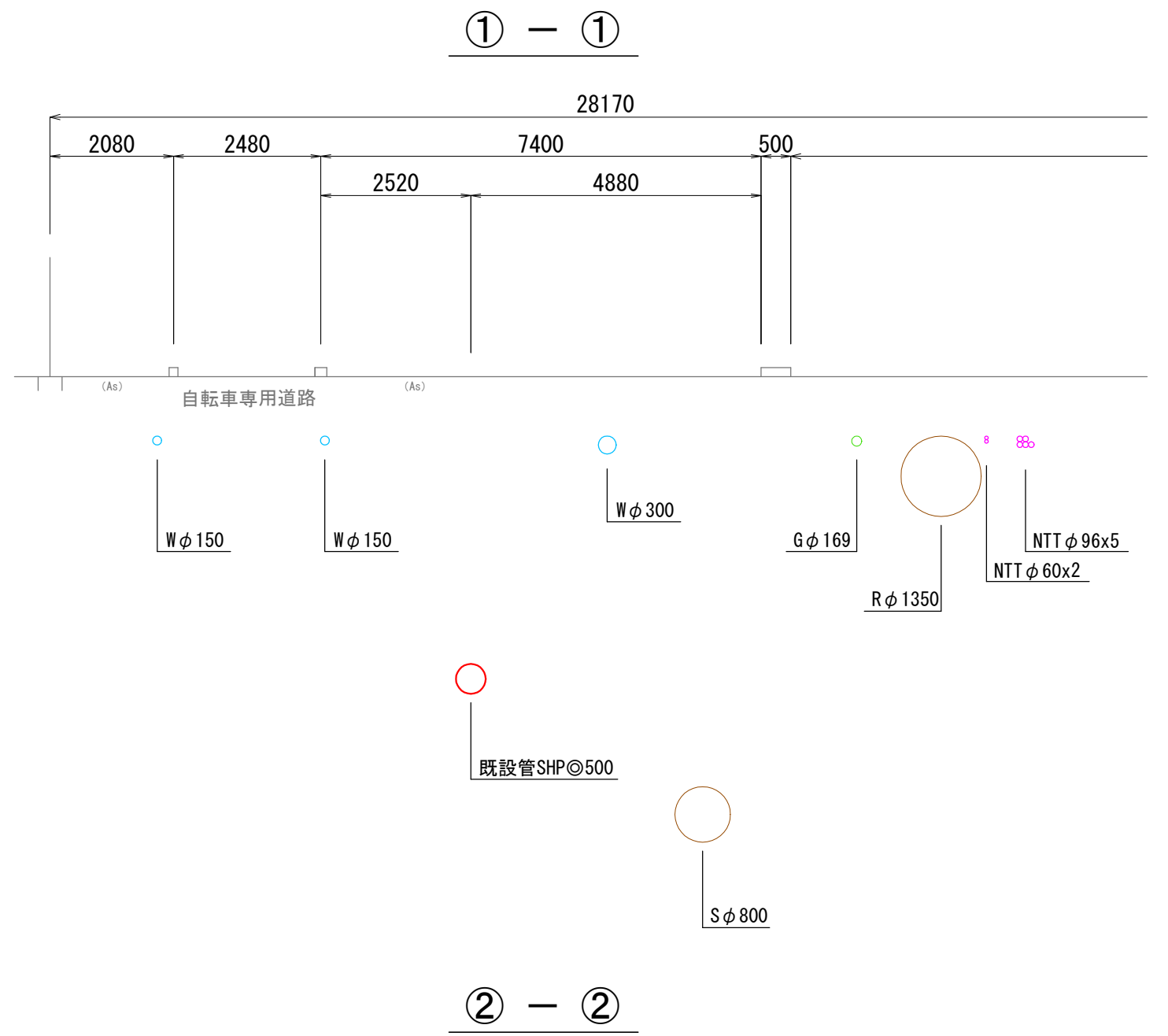
マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	● 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	● 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊙ 組立1号マンホール
⊘ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
□ 8号マンホール	⊙ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	⊙ 掘 除 口
□ 角4号マンホール	⊙ 塩ビ製マンホール
⊗ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡 例	
—	汚水実施
----	合流既設
----	汚水既設
----	雨水既設
----	汚水計画
----	雨水計画
—++—	汚水同一施工
—+—	雨水同一施工
++	樹不明取付
⊗	雨水取付(既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
—(—)	水道管
—(1)	ガス管
—(N)	N T Tケーブル
—(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管



DL=-1.00 TP+10.00

管 径	mm			
勾 配	‰			
区 間 距 離	m			
地 盤 高	″	12.62	12.45	12.50
土 被 り	″	5.50	5.48	5.66
管 底 高	″	6.620	6.471	6.337
掘 削 深	″			
追 加 距 離	″	92.40	40.00	0.00
		SHP ◎500	SHP ◎500	
		2.8	2.3	
		52.40	40.00	



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵 入	パツチ 除 去	侵入水 処 理	副管部 削孔工
S-3-1～S-3-2	—	—	4(5cm) 1(20cm)	—	—	—	—
S-3-2～S-3-3	—	—	5(5cm) 1(20cm)	—	—	—	—

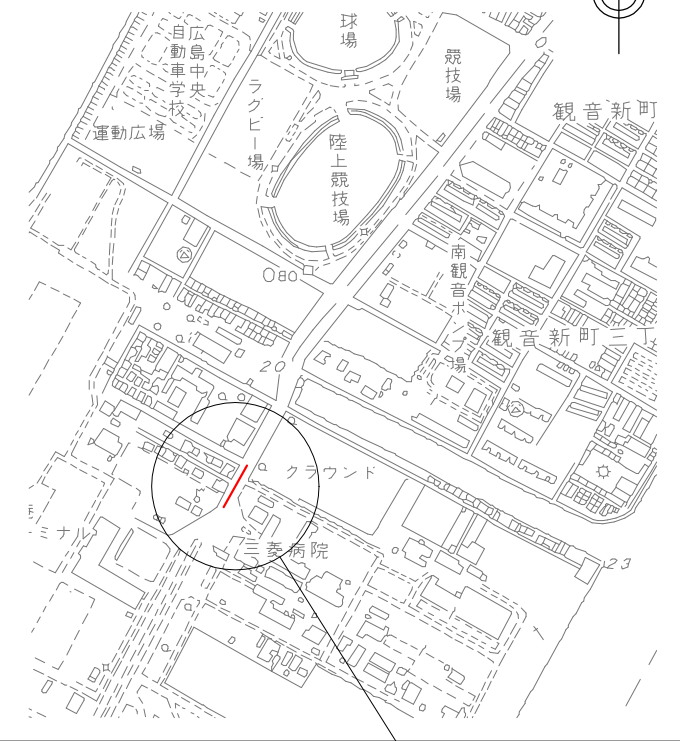
観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺 図 示			製図年月日		R06 . 10	
課 長		係 長		設 計		写 図
						図 番 No. 4 計

広島市下水道局施設部管路課

污水

位置図 S=1/10,000



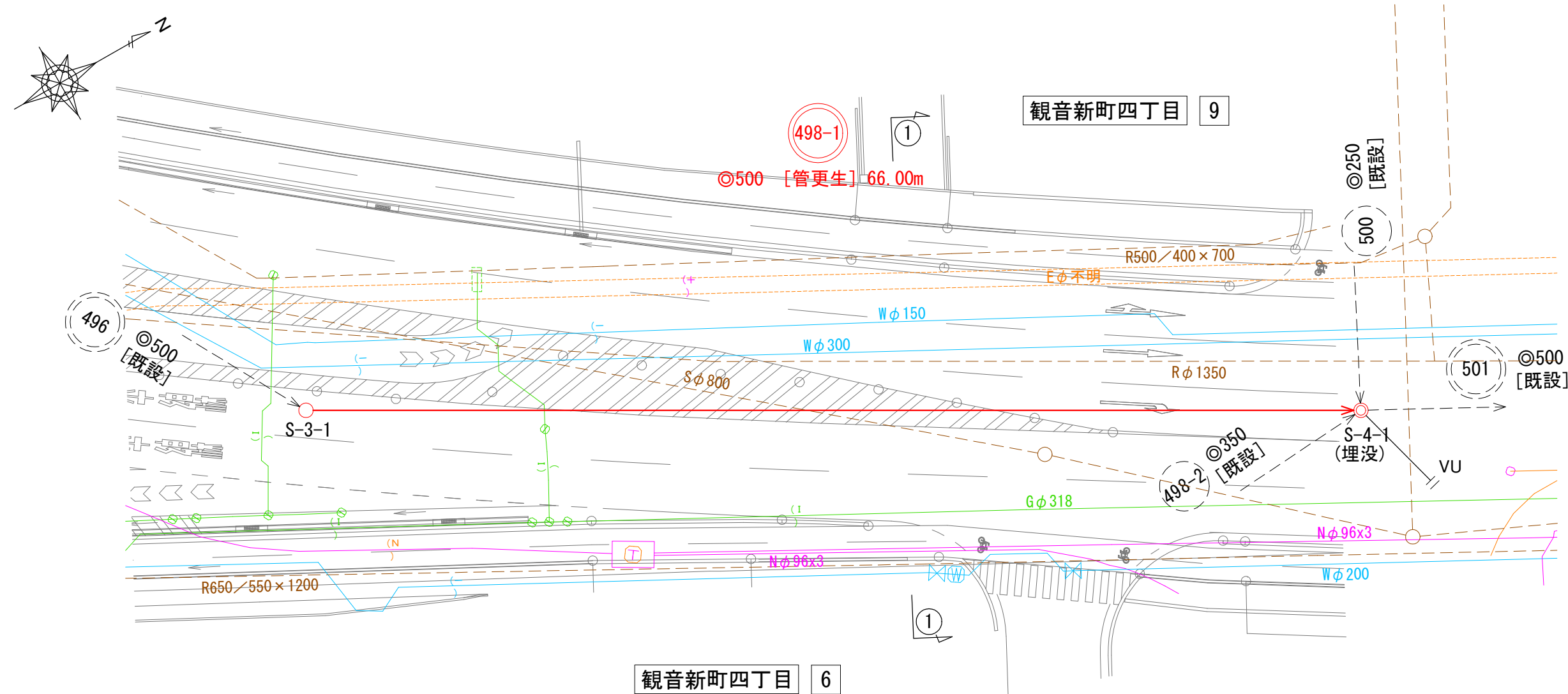
施工箇所

補 修 凡 例	
マンホール補修 A	鉄蓋取替
マンホール補修 B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修 C	インパート打替
マンホール補修 D	躯体補修
マンホール補修 E	高さ調整部補修
マンホール補修 F	鉄蓋・床版取替

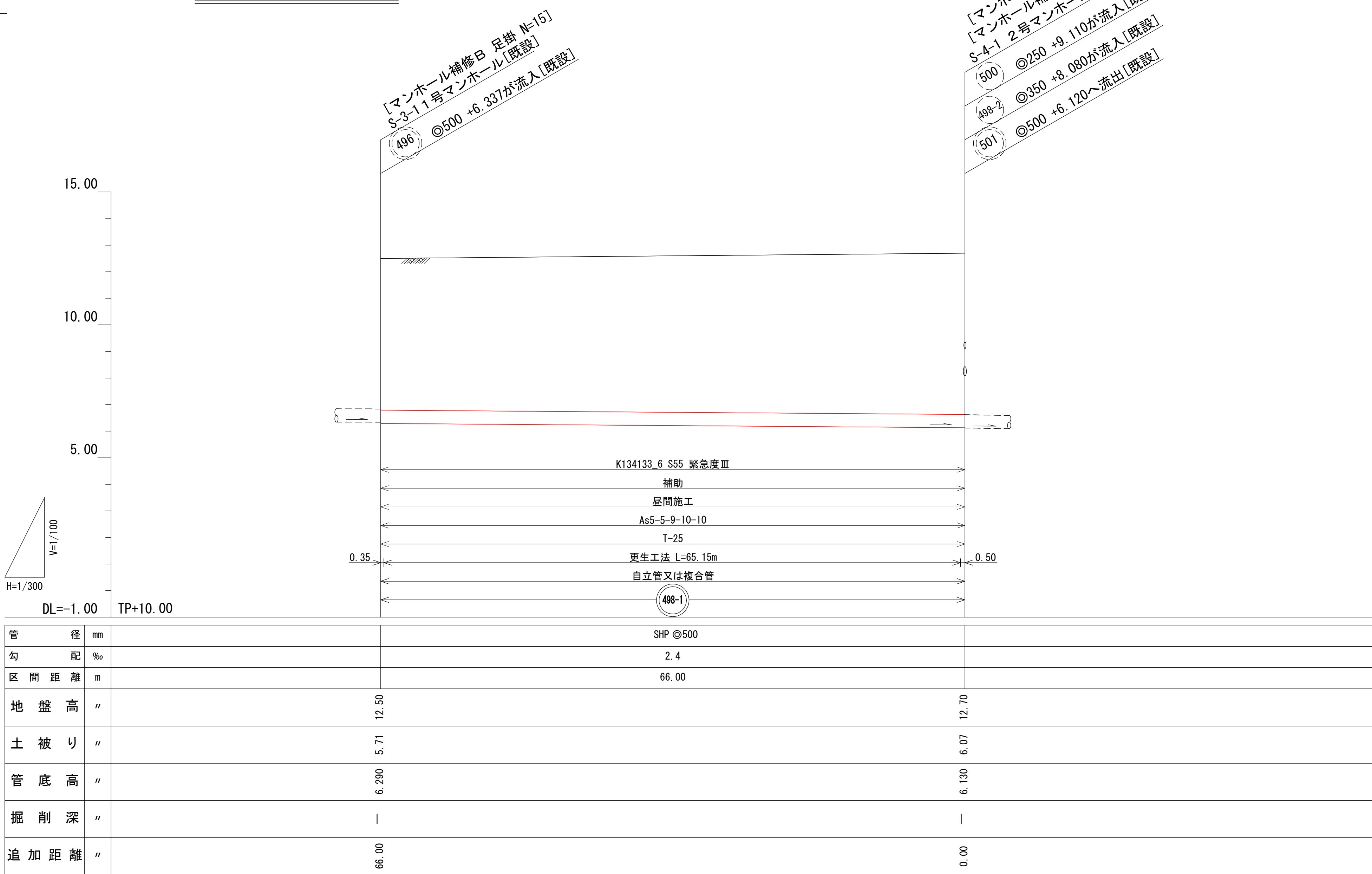
マンホール 凡 例			
○	1号 マンホール	●	特1号 マンホール
◎	2号 マンホール	⦿	特2号 マンホール
⊙	3号 マンホール	⦿	特3号 マンホール
⊖	4号 マンホール	■	特4号 マンホール
⊕	5号 マンホール	▲	組立20号マンホール
⊗	6号 マンホール	⊗	組立1号マンホール
⊗	7号 マンホール	⊗	組立22号マンホール
□	8号 マンホール	⊗	組立3号マンホール
⊕	9号 マンホール	■	掘 除 □
△	角4号 マンホール	■	塩 び 製 マンホール
△	角5号 マンホール	△	特殊 マンホール

凡	例
—————	汚水実施
-----	含流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
—— + ——	汚水同一施工
—— + ——	雨水同一施工
	樹不明取付
☒	雨水取付（既設）
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
— (—) —	水道管
— (I) —	ガス管
— (N) —	N T ケーブル
— (+) —	中電ケーブル
○ — ●	外副管
○ — ● —	内副管

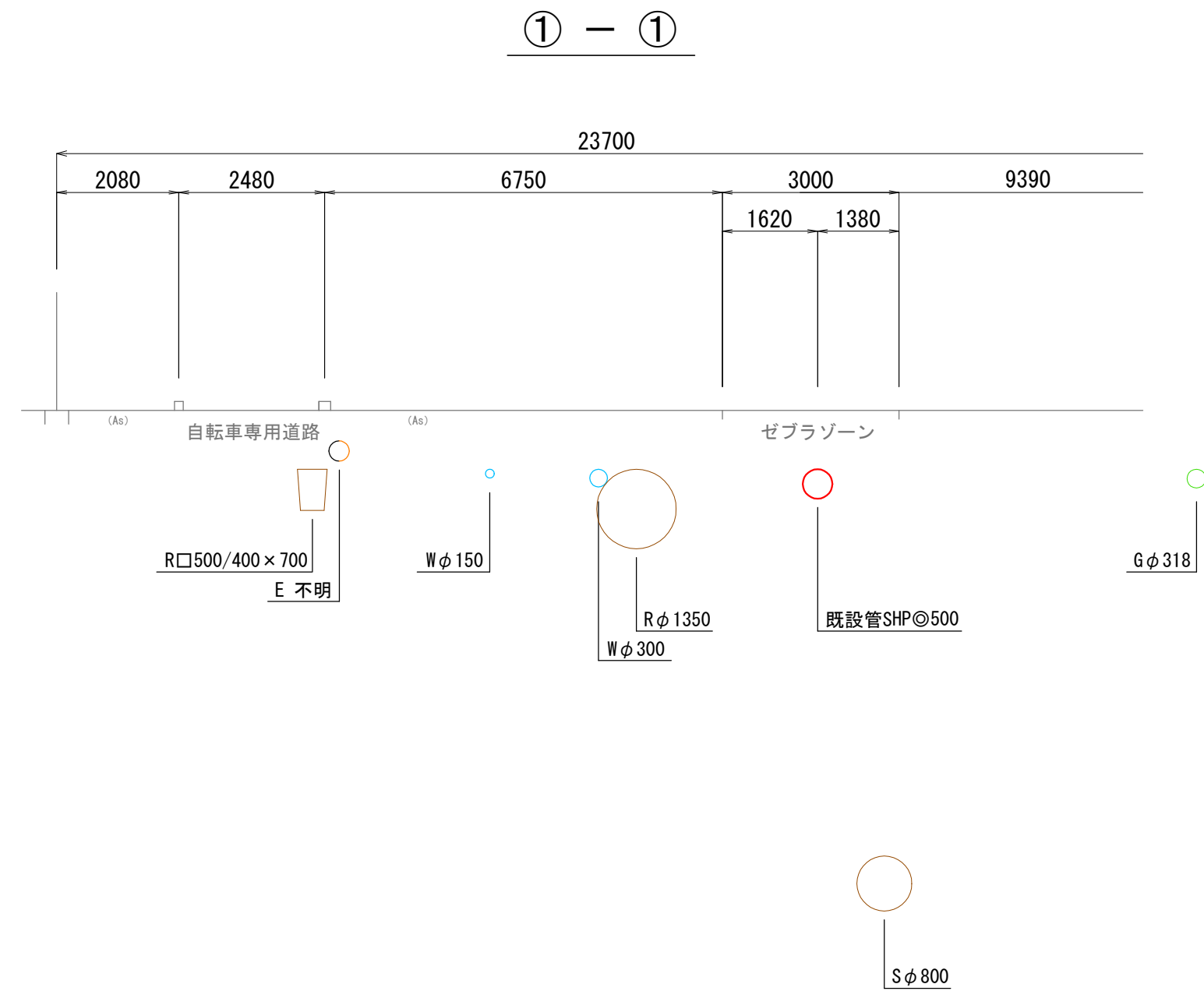
〔参考図〕 汚水平面図 S=1/300



縦断面図

$$\begin{aligned} V &= 1/100 \\ H &= 1/300 \end{aligned}$$


横断図

$$S=1/100$$


- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、V閉表示の取付管は削孔を作業しない。
- ※ T表示（陶管）、H表示（ヒューム管）、V表示（塩ビ管）の取付管は削孔処理のみとしている。
（ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない）
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。（管径800mm未満）
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。（管径800mm以上）
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵 入	パ ック 除 去	侵入水 処 理	副管部 削孔工
S-4-1～S-3-1	—	—	7(5cm) 1(20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

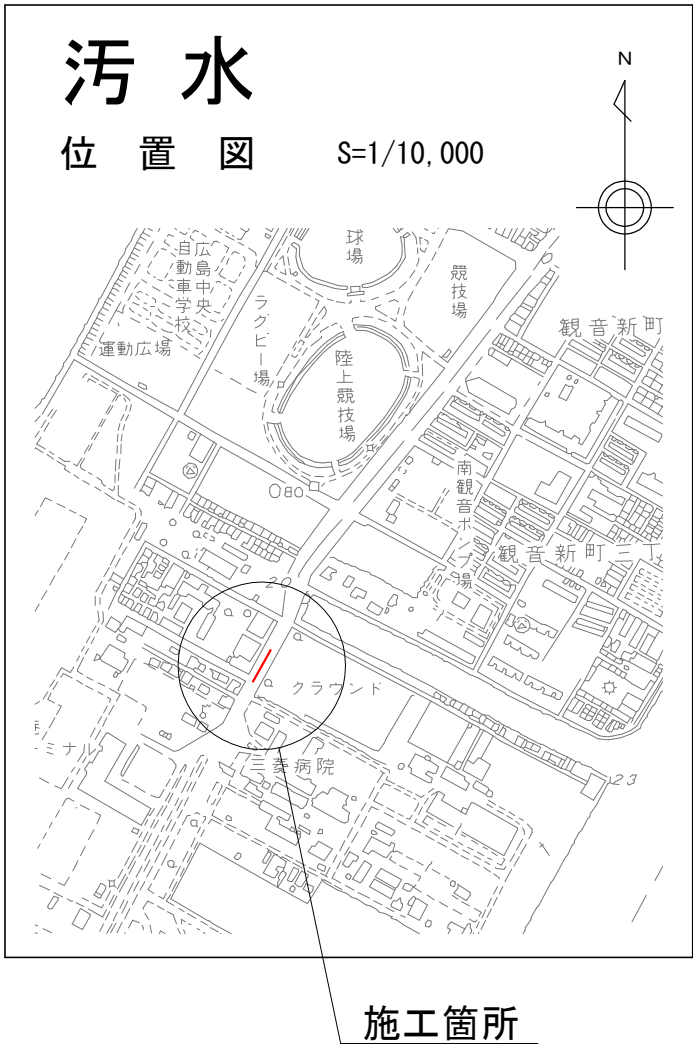
設計

写真

図番

No. 5計

広島市下水道局施設部管路課



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

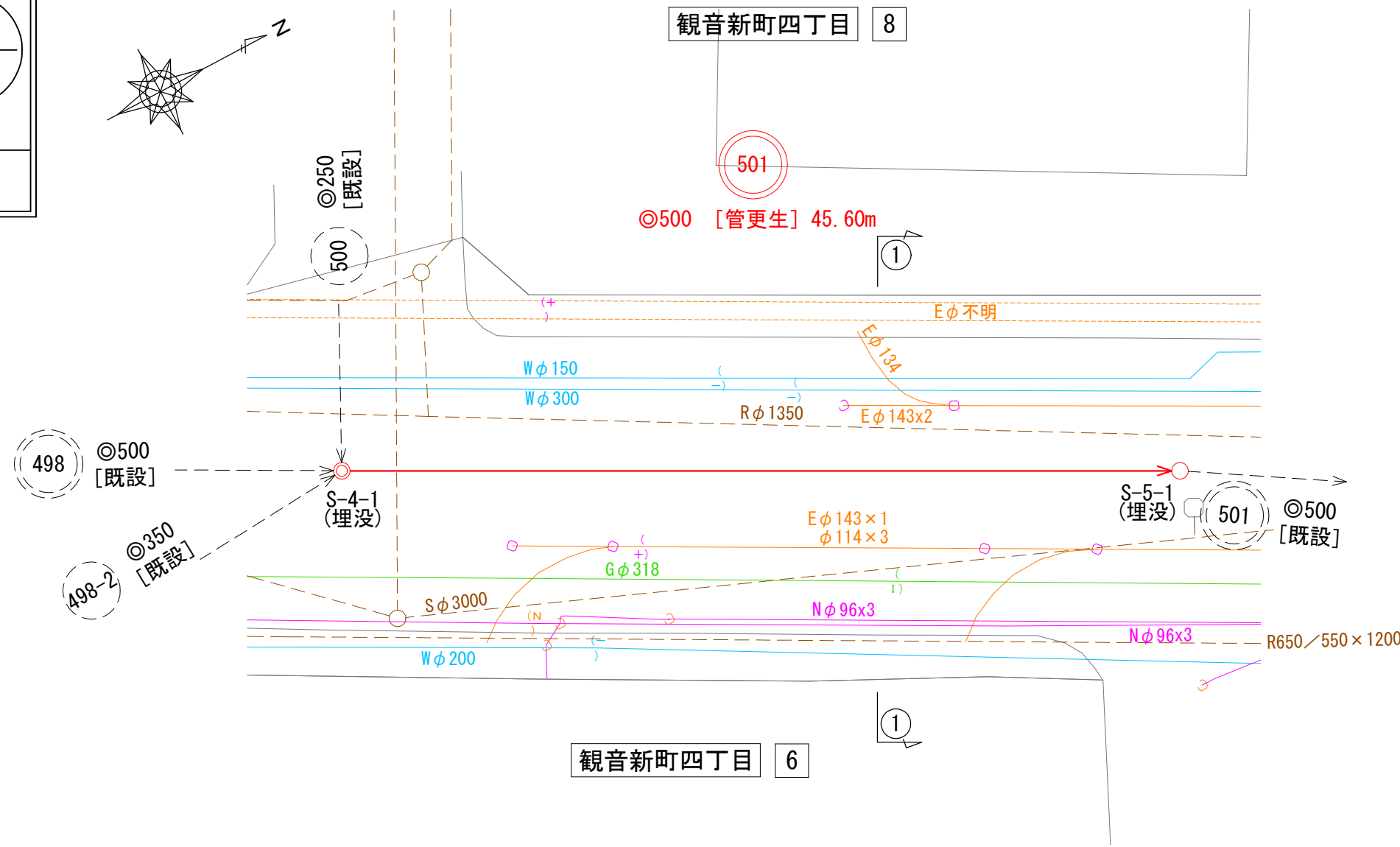
マンホール凡例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	● 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	■ 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊙ 組立1号マンホール
⊠ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
□ 8号マンホール	⊙ 組立3号マンホール
⊞ 9号マンホール	● 掃除口
◻ 角4号マンホール	⊙ 塩ビ製マンホール
◻ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡例	
——	汚水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++	樹不明取付
⊠	雨水取付(既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	NTTケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管

〔参考図〕

汚水平面図

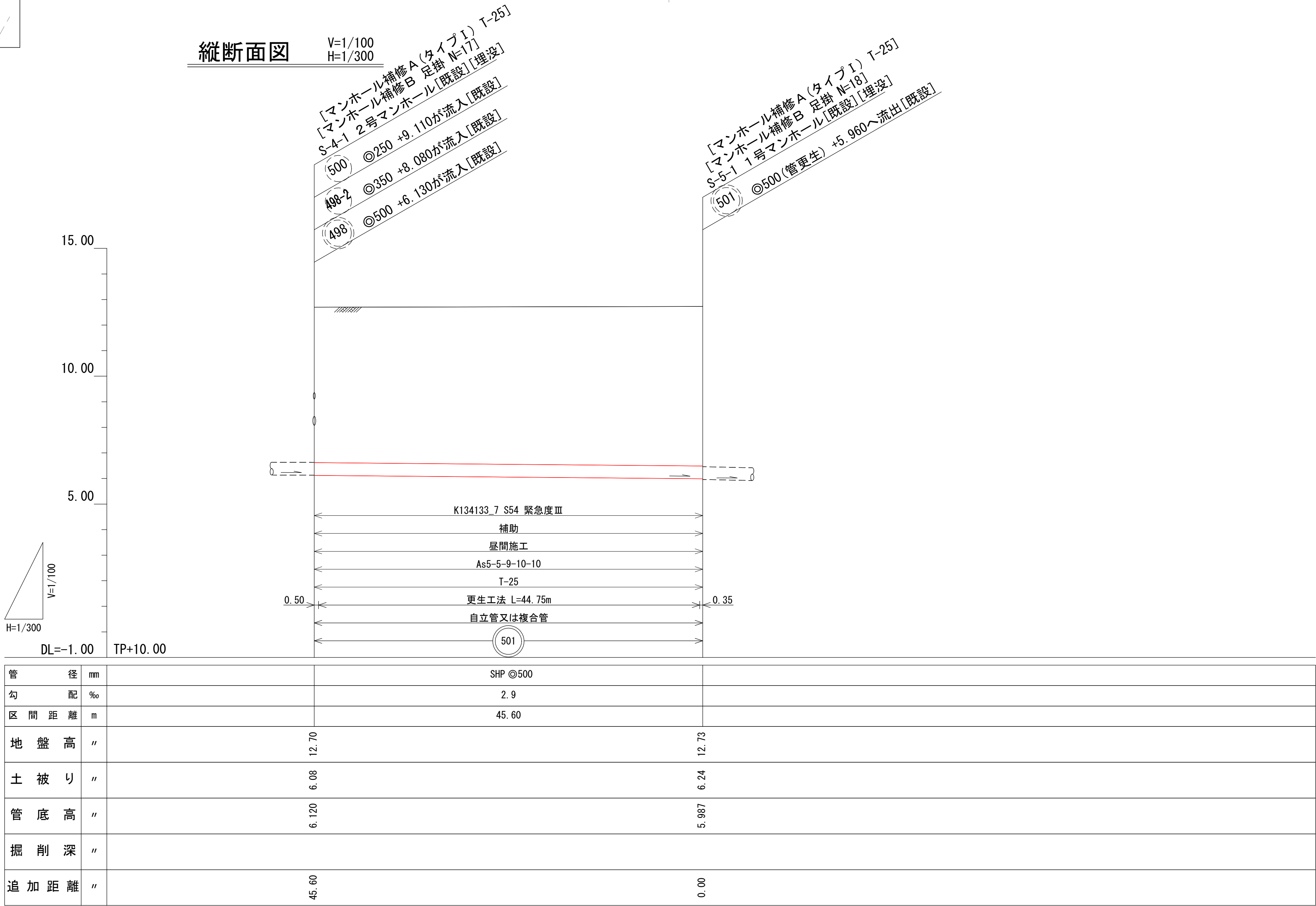
S=1/300



縦断面図

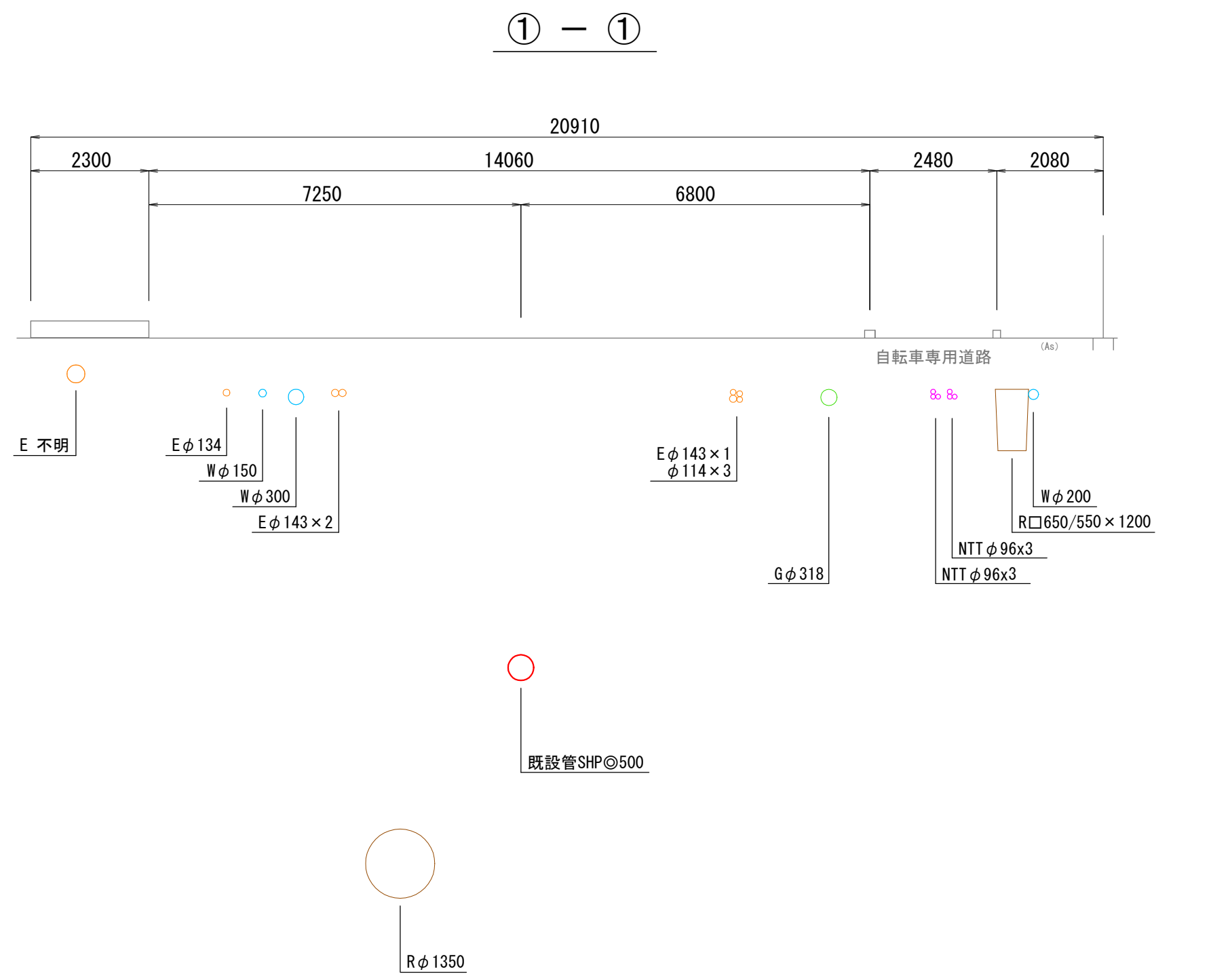
V=1/100

H=1/300



横断面図

S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	パッキン除去	侵入水処理	副管部削孔工
S-4-1~S-5-1	—	—	5(5cm)1(20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

写真

図番

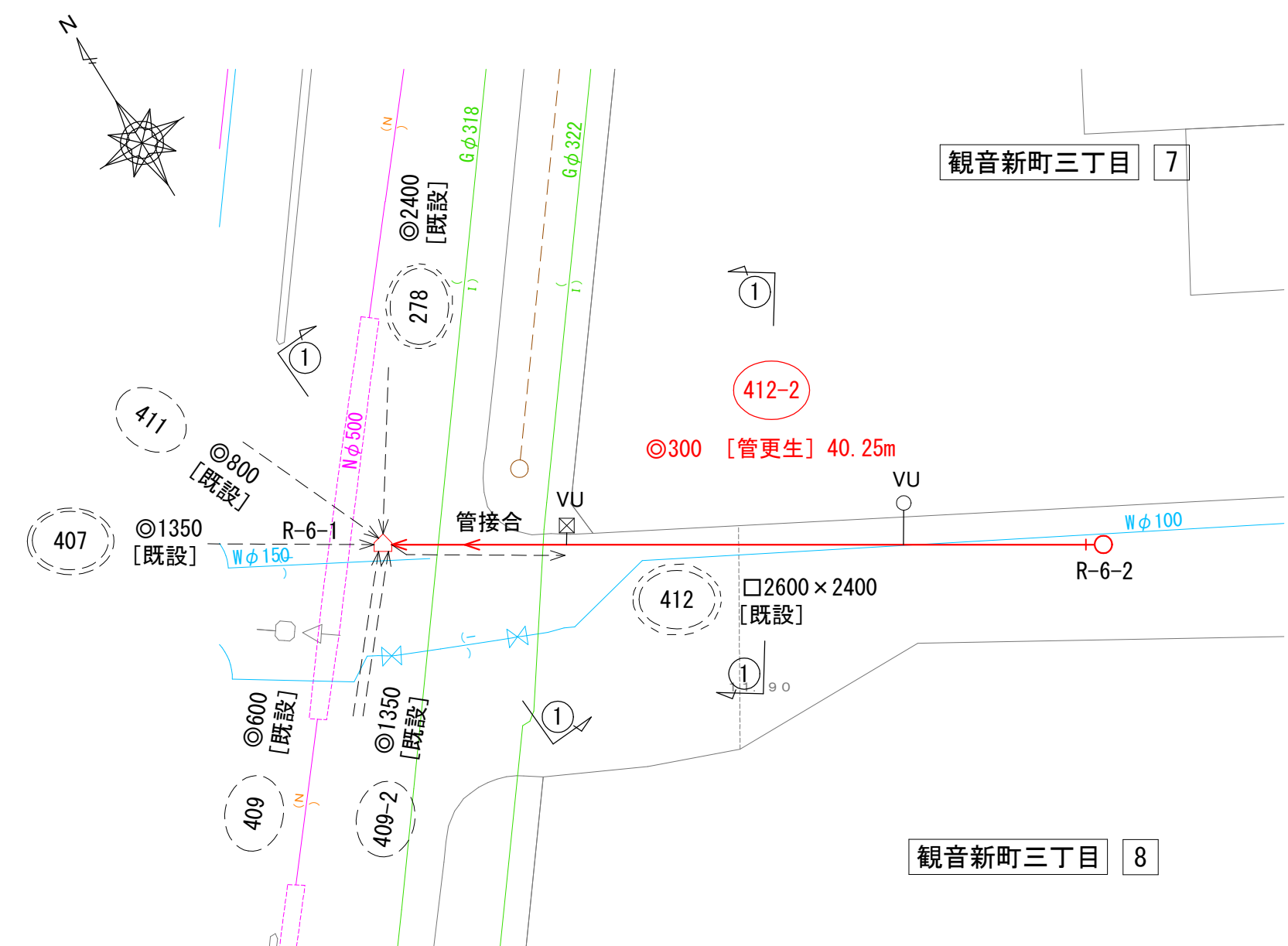
No. 6

広島市下水道局施設部管路課



施工箇所

〔参考図〕 雨水平面図 S=1/300

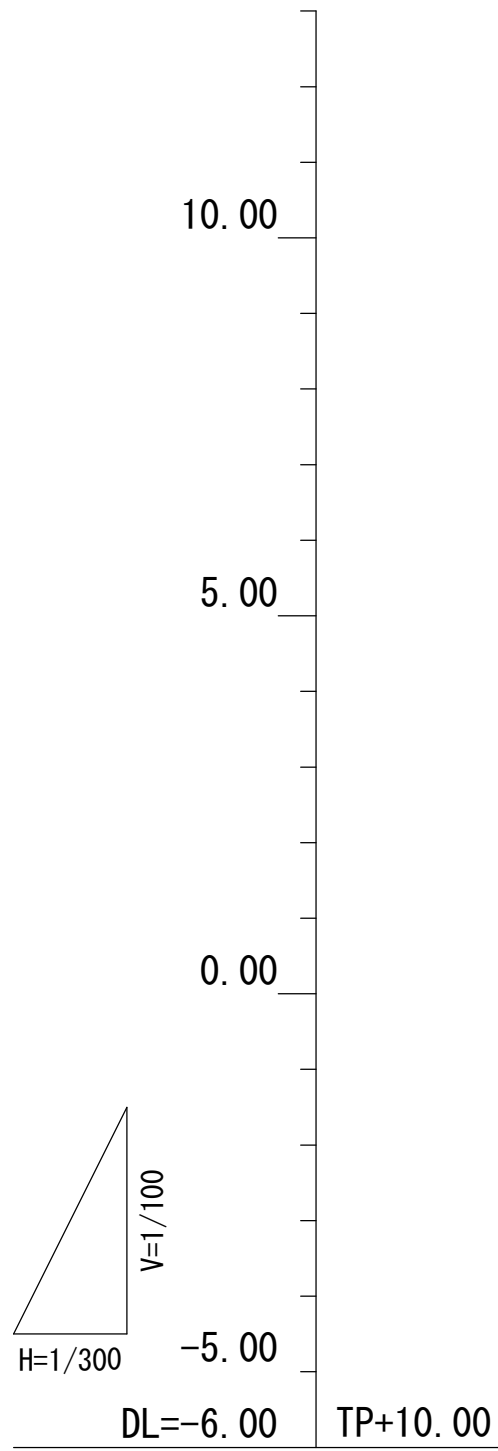


縦断面図 V=1/100 H=1/300

補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

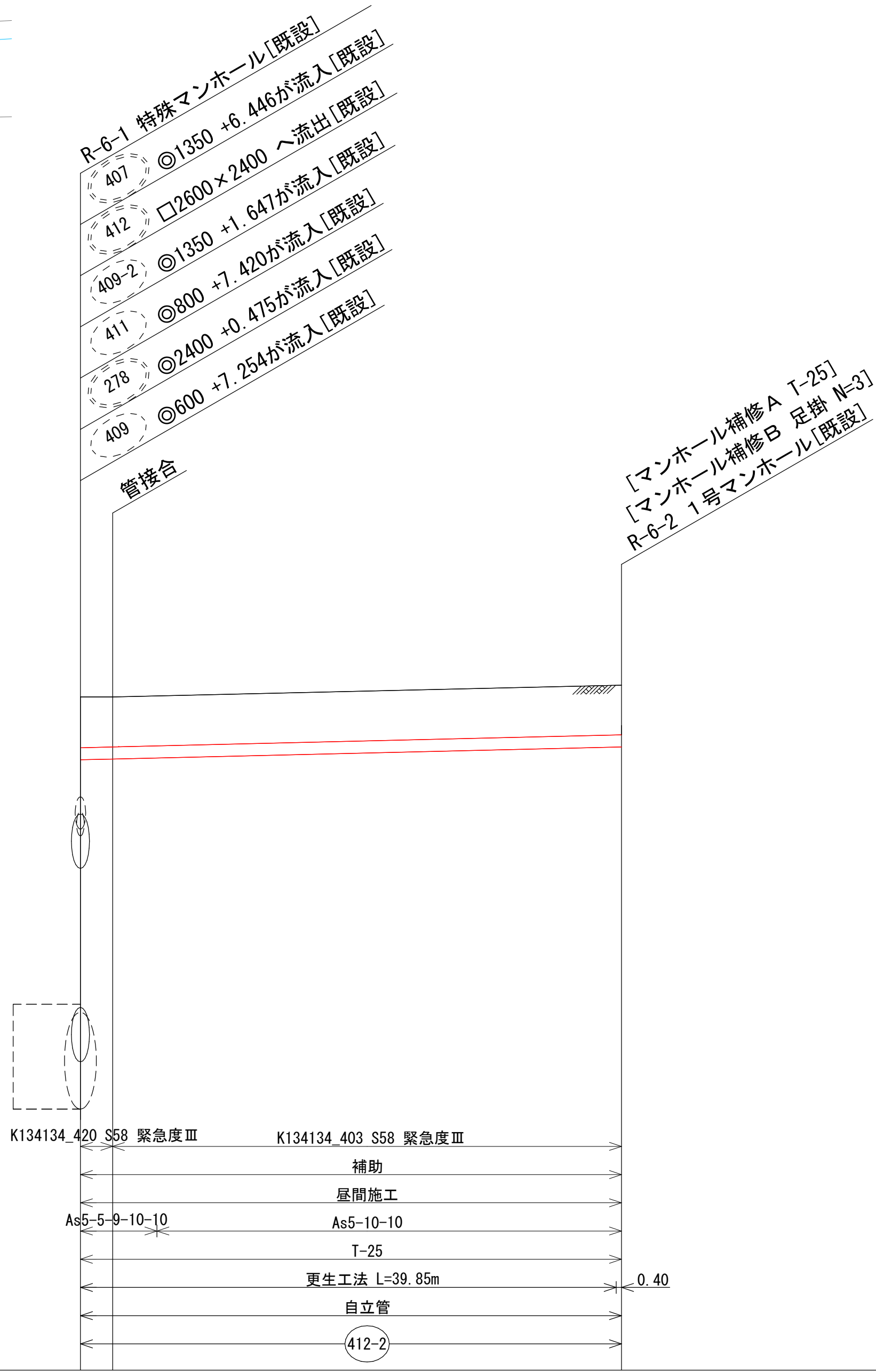
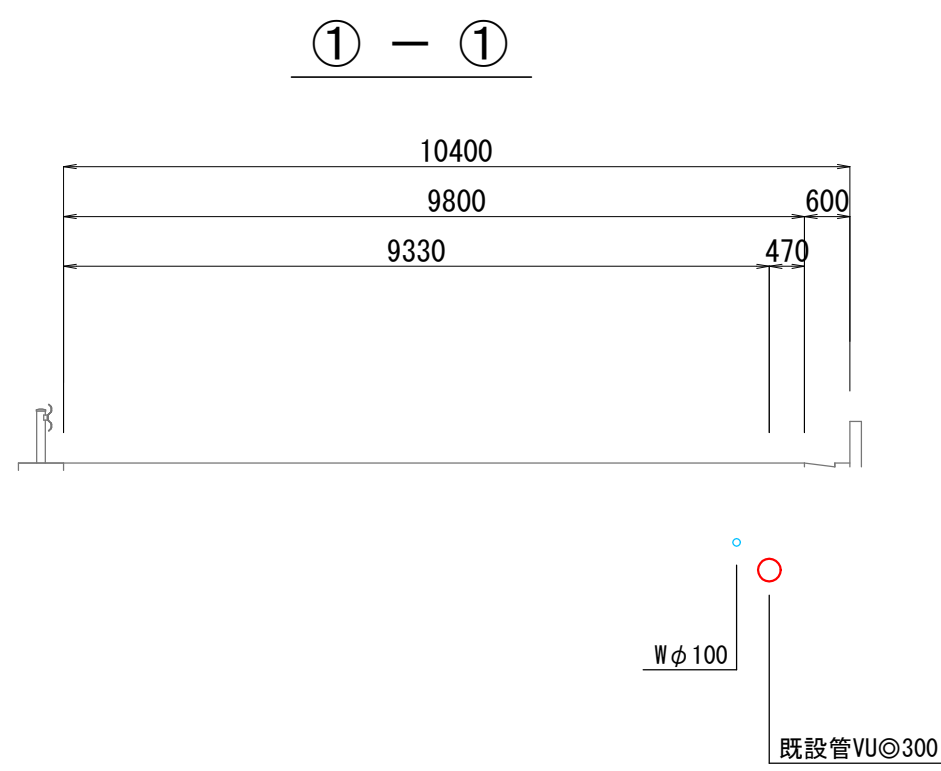
マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	⦿ 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	⦿ 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	■ 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊙ 組立1号マンホール
⊘ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
□ 8号マンホール	⊙ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	● 掃除口
□ 角4号マンホール	⊙ 塩ビ製マンホール
⊗ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡 例	
——	雨水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
——	樹不明取付
⊗——	雨水取付(既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○—●	外副管
○—●	内副管



管 径	mm	HP 300	HP 300	
勾 配	‰	7.9	8.0	
区 間 距 離	m	2.40	37.85	
地 盤 高	〃	70.70	70.99	
土 被 り	〃	1.26	1.24	
管 底 高	〃	9.139	9.158	
掘 削 深	〃			
追 加 距 離	〃	0.00	2.40	

横断図 S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵 入	バ ッケン 除 去	侵入水 処 理	副管部 削孔工
R-6-1~R-6-2	2	2	2(5cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

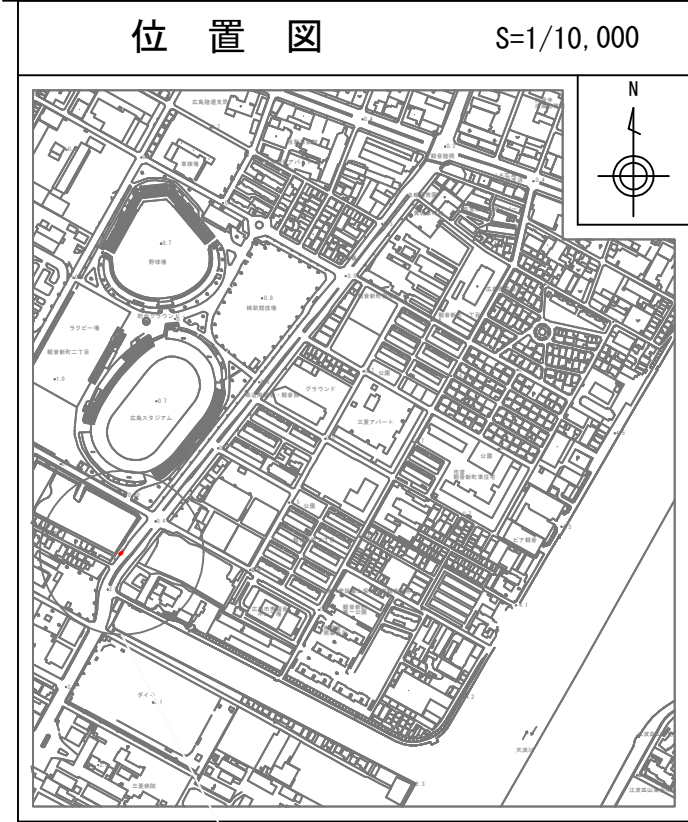
設計

写図

図番

No. 7計

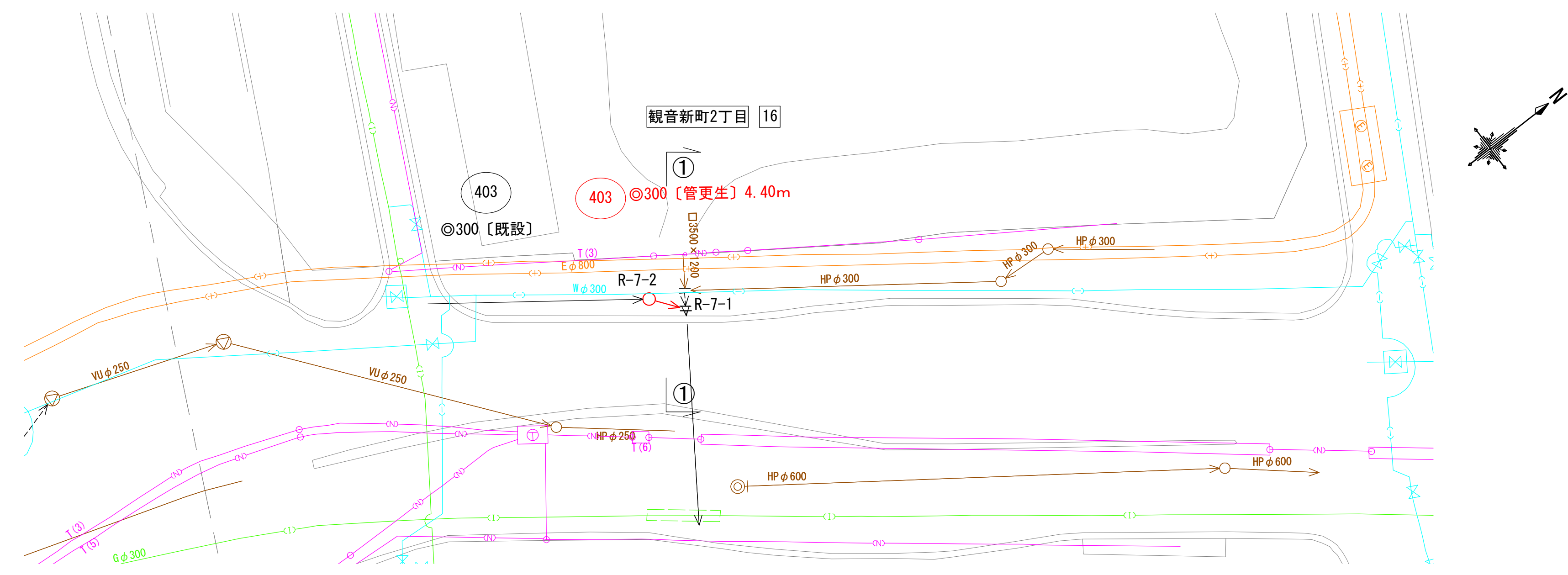
広島市下水道局施設部管路課



施工箇所

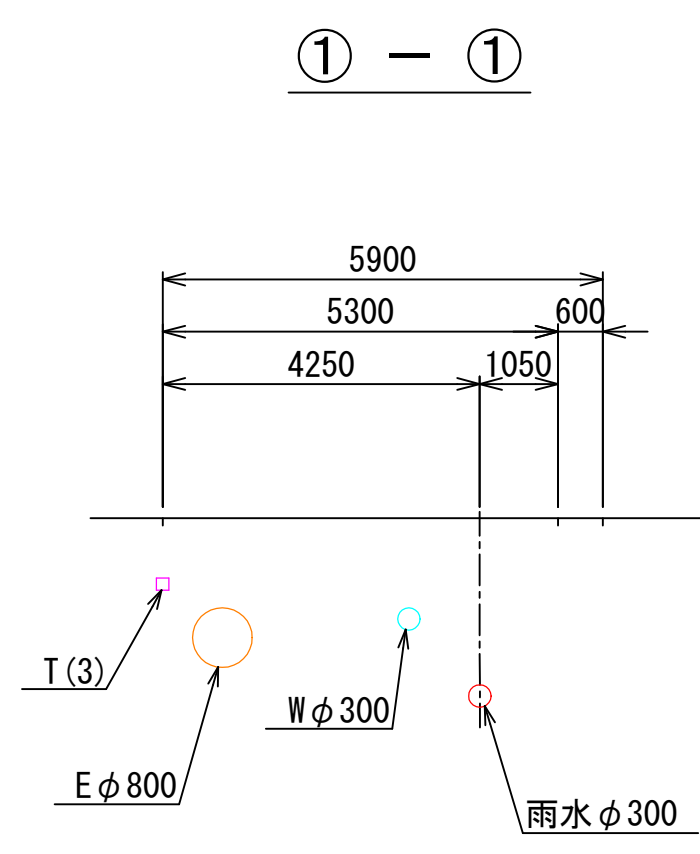
〔参考図〕

雨水平面図 S=1/300



縦断図 V=1/100
H=1/300

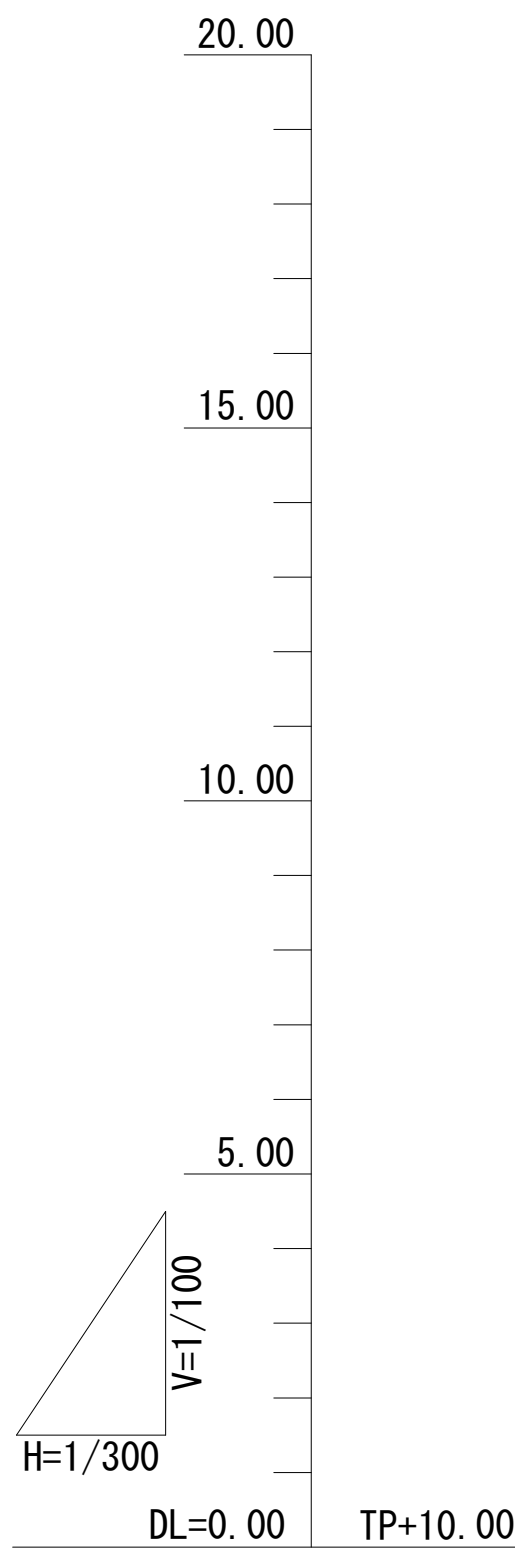
横断図 S=1/100



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○	1号マンホール
◎	2号マンホール
⊙	3号マンホール
⊖	4号マンホール
⊕	5号マンホール
⊗	6号マンホール
⊘	7号マンホール
□	8号マンホール
⊞	9号マンホール
◻	角4号マンホール
◻	角5号マンホール
●	特1号マンホール
⦿	特2号マンホール
⦿	特3号マンホール
■	特4号マンホール
▲	組立0号マンホール
⊙	組立1号マンホール
⊙	組立2号マンホール
⊙	組立3号マンホール
⦿	掃 除 口
⦿	塩ビ製マンホール
△	特殊マンホール

凡	例
—	雨水実施
—	合流既設
—	汚水既設
—	雨水既設
—	汚水計画
—	雨水計画
— ++ —	汚水同一施工
— + —	雨水同一施工
—	樹不明取付
⊗	雨水取付 (既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
— (—) —	水道管
— (I) —	ガス管
— (N) —	N T Tケーブル
— (+) —	中電ケーブル
○ ← ●	外副管
○ ← ●	内副管



管 径 (mm)	HPφ300
勾 配 (%)	4.1
区間距離 (m)	4.40
地 盤 高 (m)	11.16
土 被 り (m)	2.23
管 底 高 (m)	8.634
掘 削 深 (m)	8.616
追加距離 (m)	4.40

- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示 (陶管), H表示 (ヒューム管), VU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし, 接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取 付 管 突出し	砂等 除 去	木の根 侵 入	パッキン 除 去	浸入水 処 理	副管部 削孔工
R-7-1~R-7-2	—	—	—	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

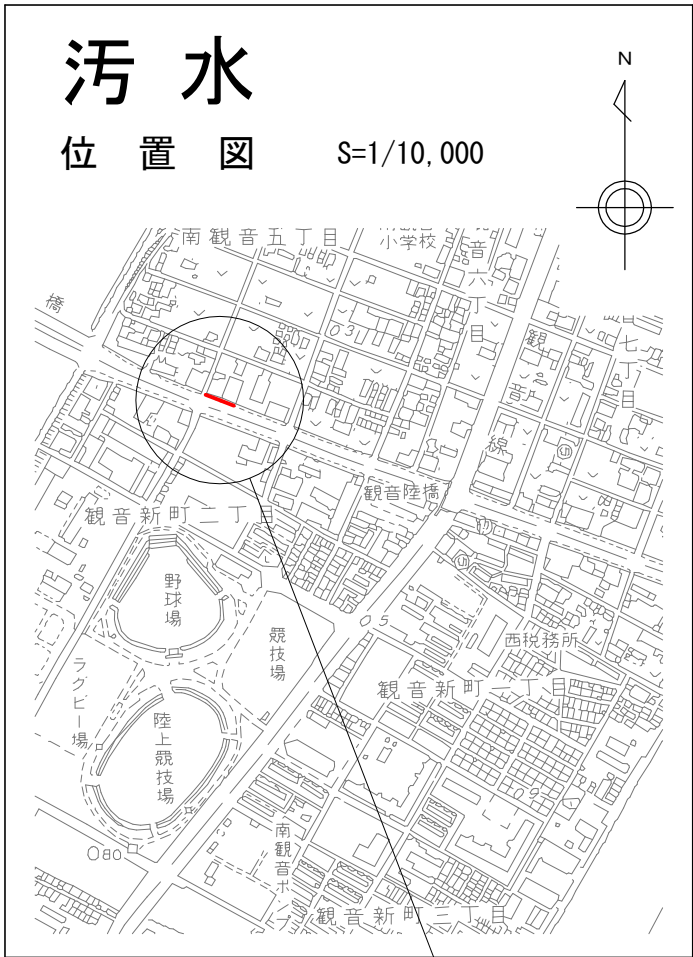
写図

図番

No. 8

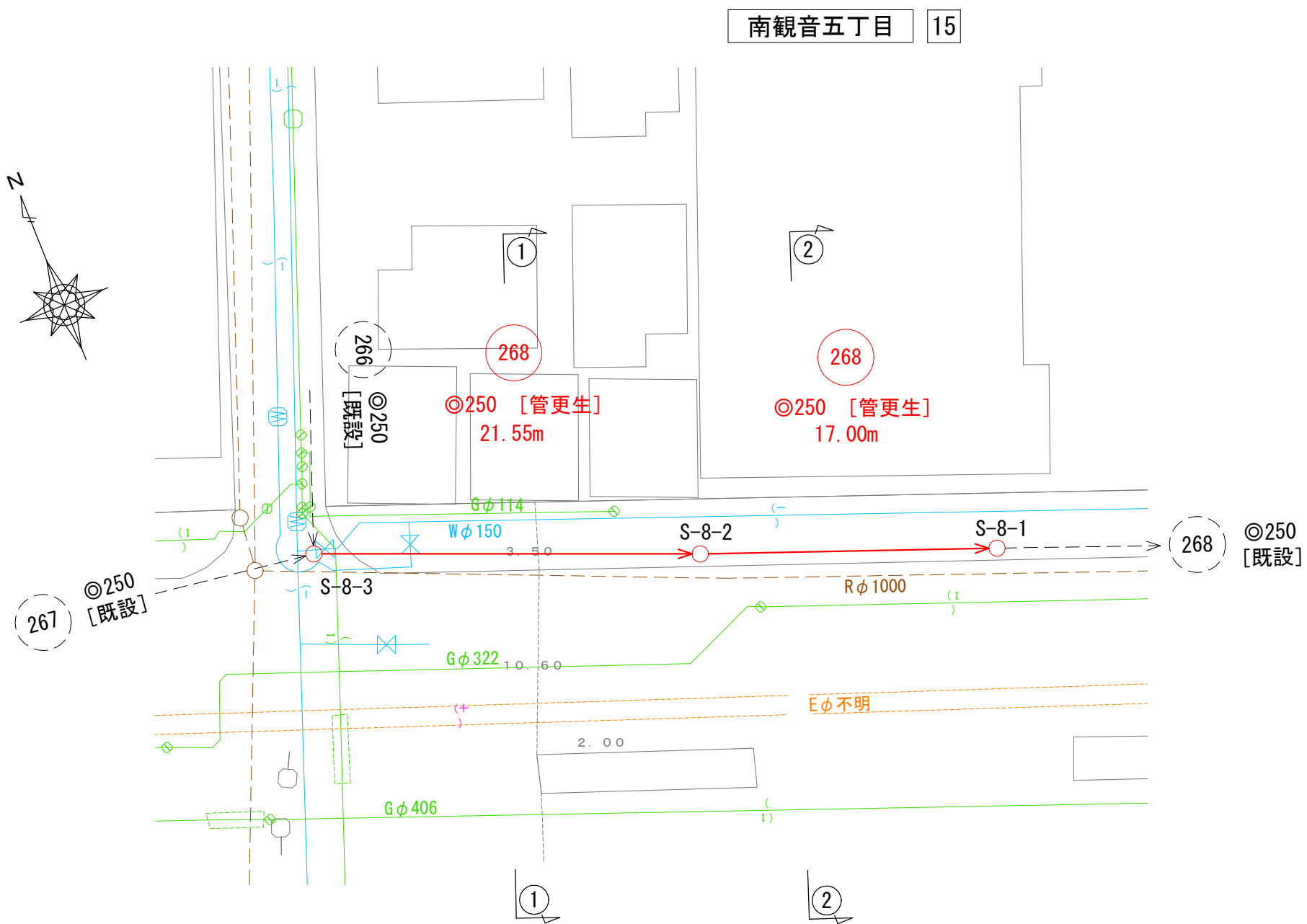
計

広島市下水道局施設部管路課

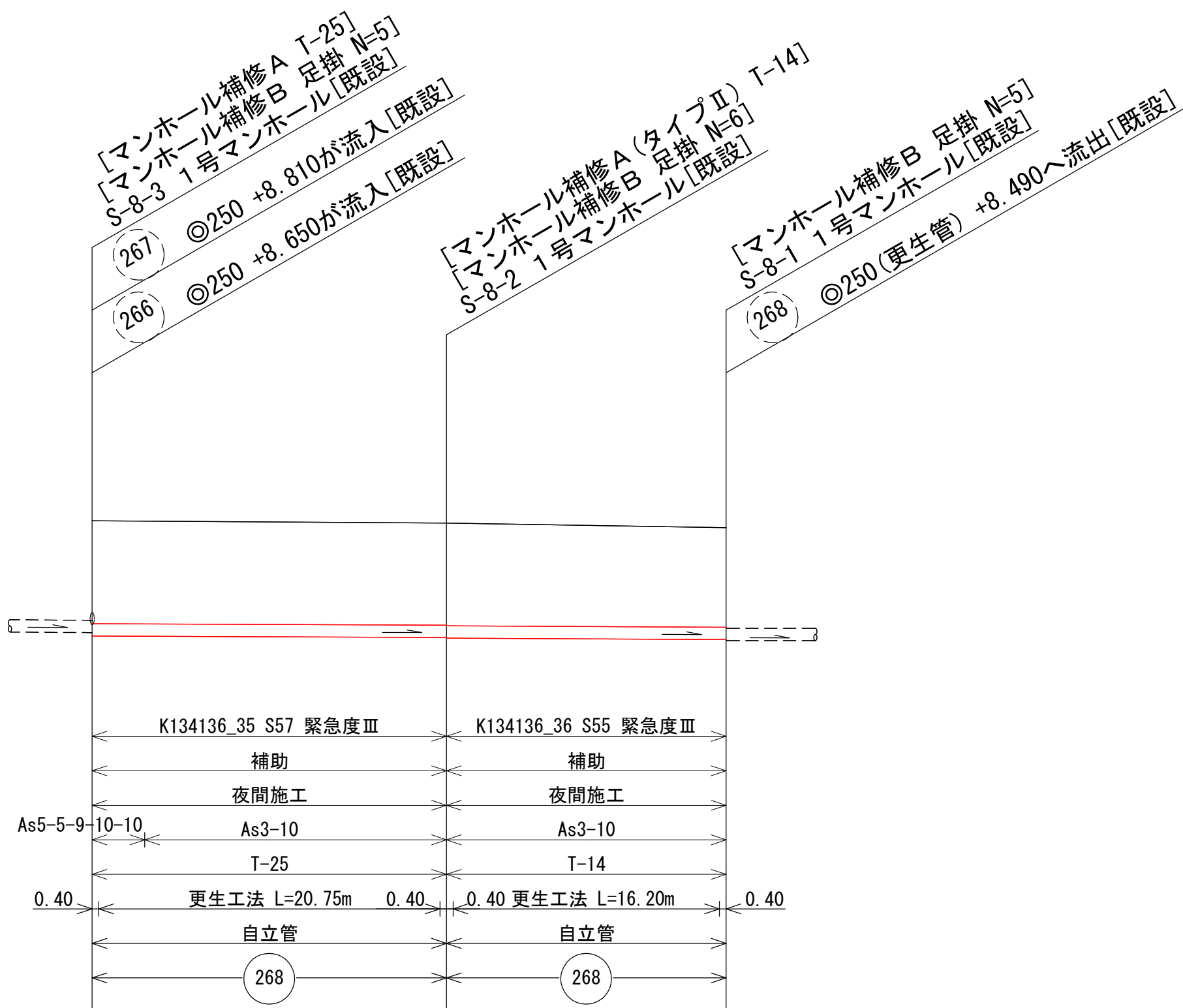


施工箇所

〔参考図〕 汚水平面図 S=1/300



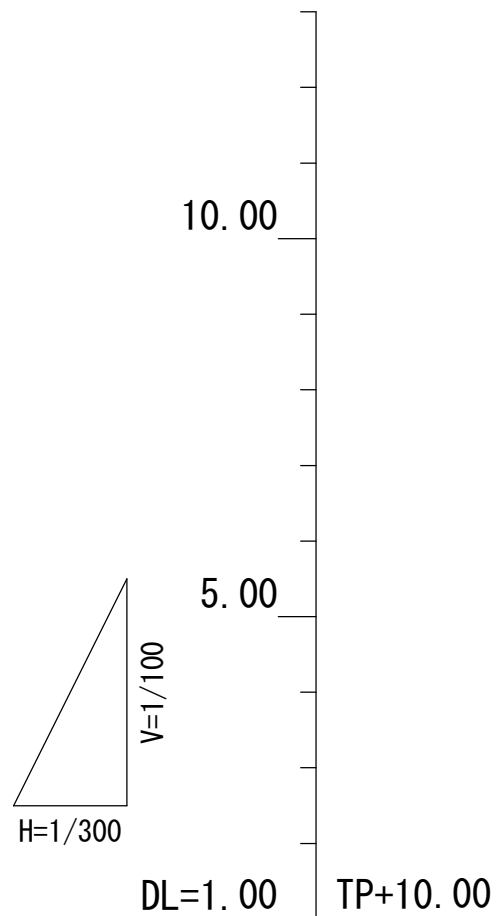
縦断面図 V=1/100
H=1/300



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

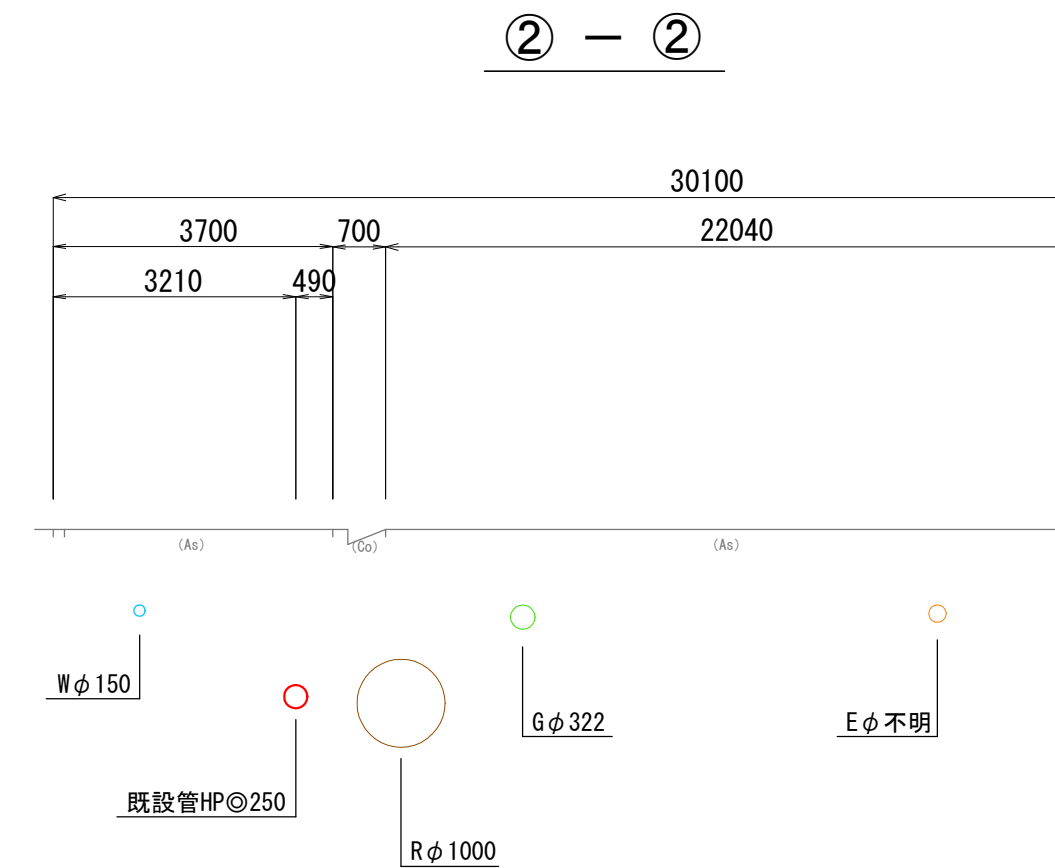
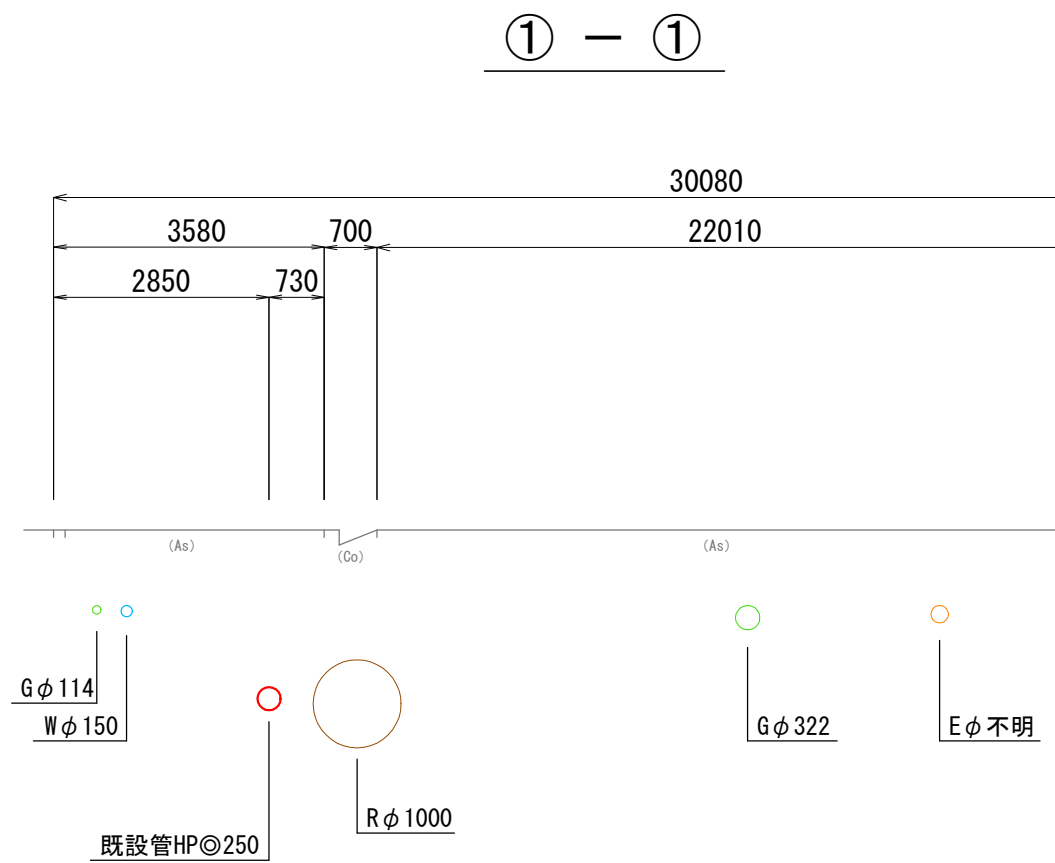
マンホール	凡	例
○	1号マンホール	● 特1号マンホール
◎	2号マンホール	● 特2号マンホール
◎	3号マンホール	● 特3号マンホール
◎	4号マンホール	● 特4号マンホール
◎	5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗	6号マンホール	◎ 組立1号マンホール
⊗	7号マンホール	◎ 組立2号マンホール
⊗	8号マンホール	◎ 組立3号マンホール
⊕	9号マンホール	⊙ 掃除口
□	角4号マンホール	⊙ 塩ビ製マンホール
⊠	角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡	例
——	汚水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++	樹不明取付
⊗	雨水取付 (既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(I)	ガス管
——(N)	N T Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管



管径	mm	HP ◎250	HP ◎250	
勾配	‰	1.4	1.8	
区間距離	m	21.55	17.00	
地盤高	''	10.92	10.87	10.78
土被り	''	2.09	2.07	2.02
管底高	''	8.560	8.550	8.510
掘削深	''			
追加距離	''	38.55	17.00	0.00

横断面図 S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	パッキン除去	侵入水処理	副管部削孔工
S-8-1～S-8-2	—	—	1 (5cm)	—	—	—	—
S-8-2～S-8-3	—	—	2 (5cm) 1 (20cm)	—	—	—	

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

写図

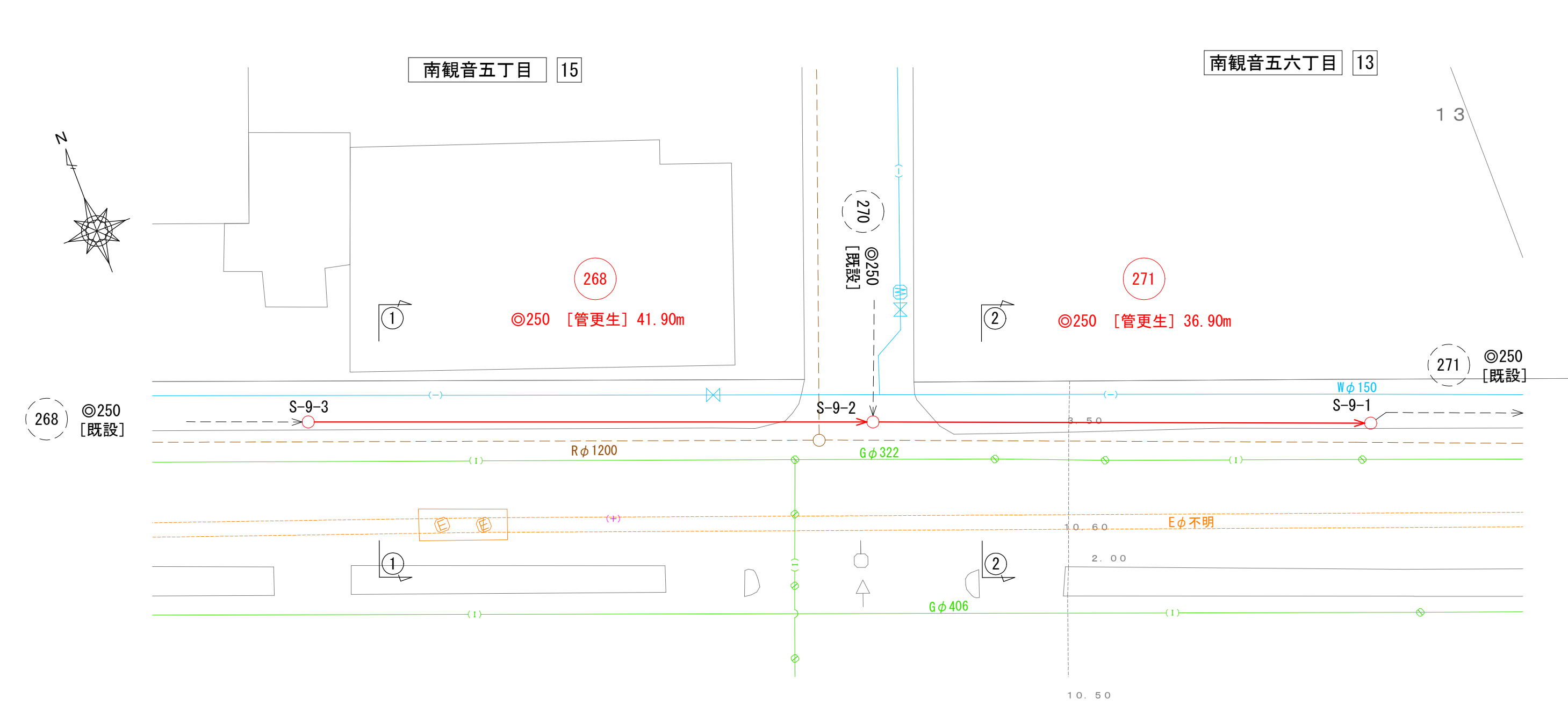
図番

No. 9計

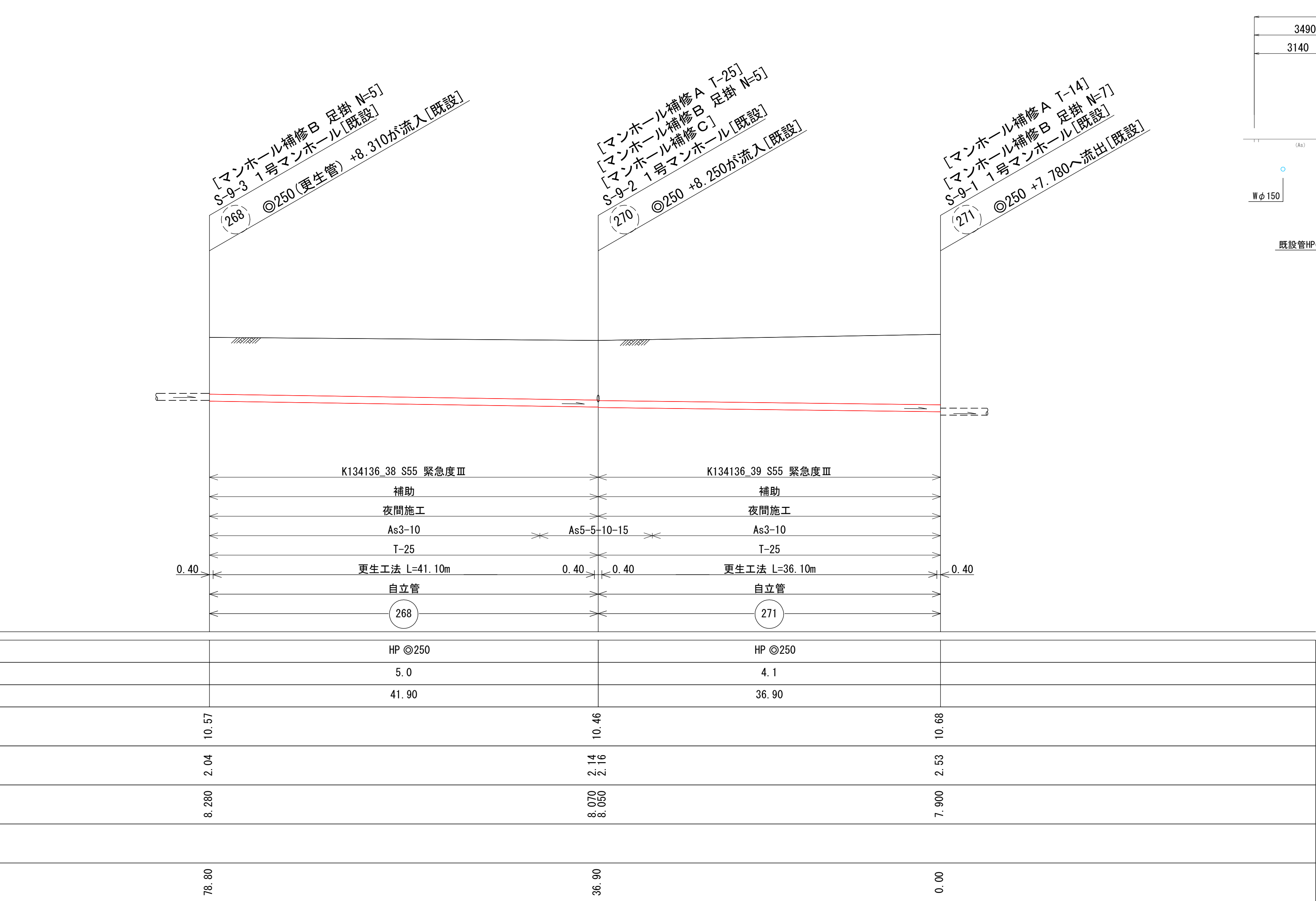
広島市下水道局施設部管路課



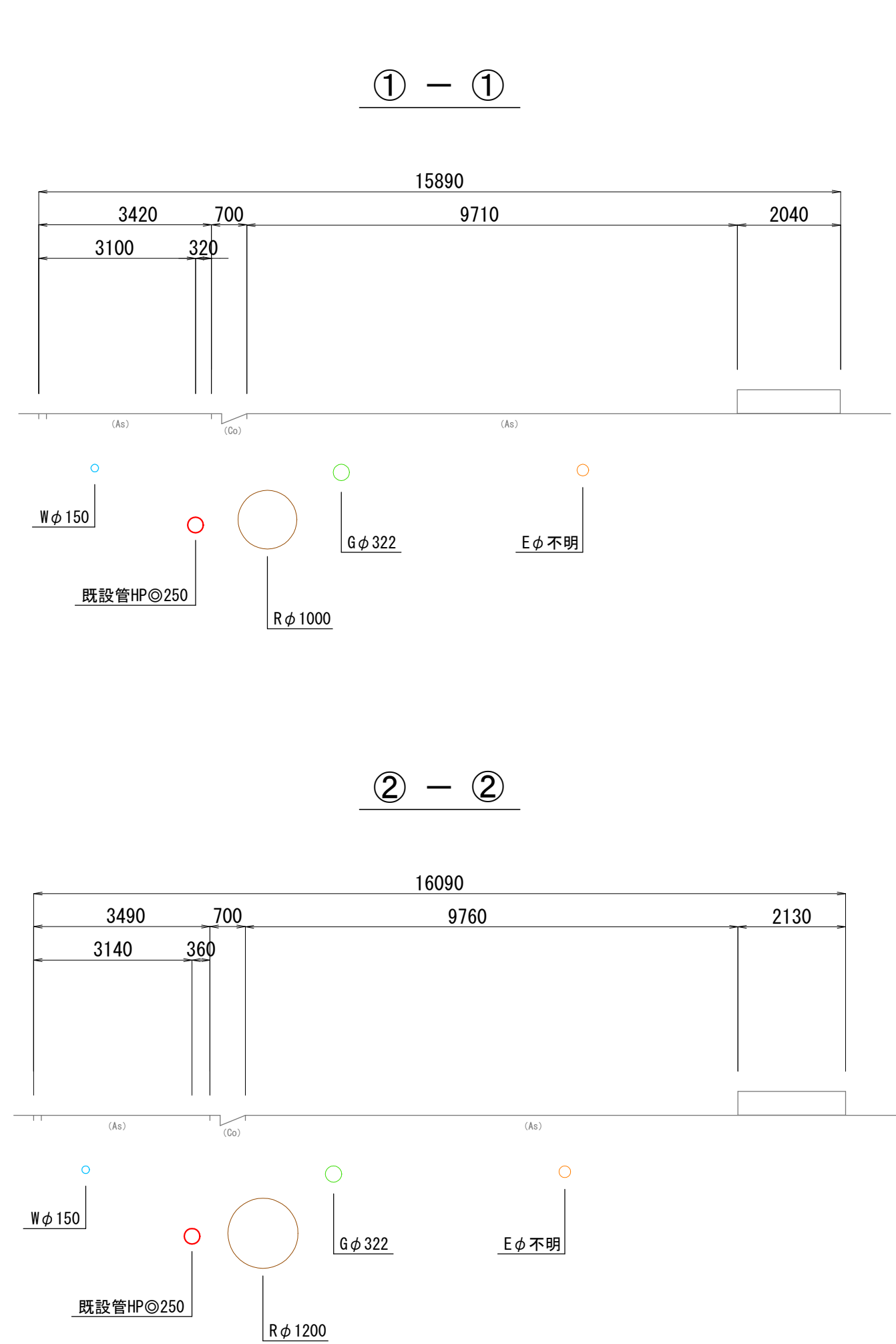
〔参考図〕 汚水平面図 S=1/300



縦断面図 V=1/100
H=1/300



横断図 S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
◎ 3号マンホール	● 特3号マンホール
◎ 4号マンホール	● 特4号マンホール
◎ 5号マンホール	● 組立0号マンホール
◎ 6号マンホール	● 組立1号マンホール
◎ 7号マンホール	● 組立2号マンホール
◎ 8号マンホール	● 組立3号マンホール
◎ 9号マンホール	● 掘除口
◎ 角4号マンホール	● 塩ビ製マンホール
◎ 角5号マンホール	● 特殊マンホール

凡 例	
——	汚水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++——	樹不明取付
☒——	雨水取付(既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

写図

図番

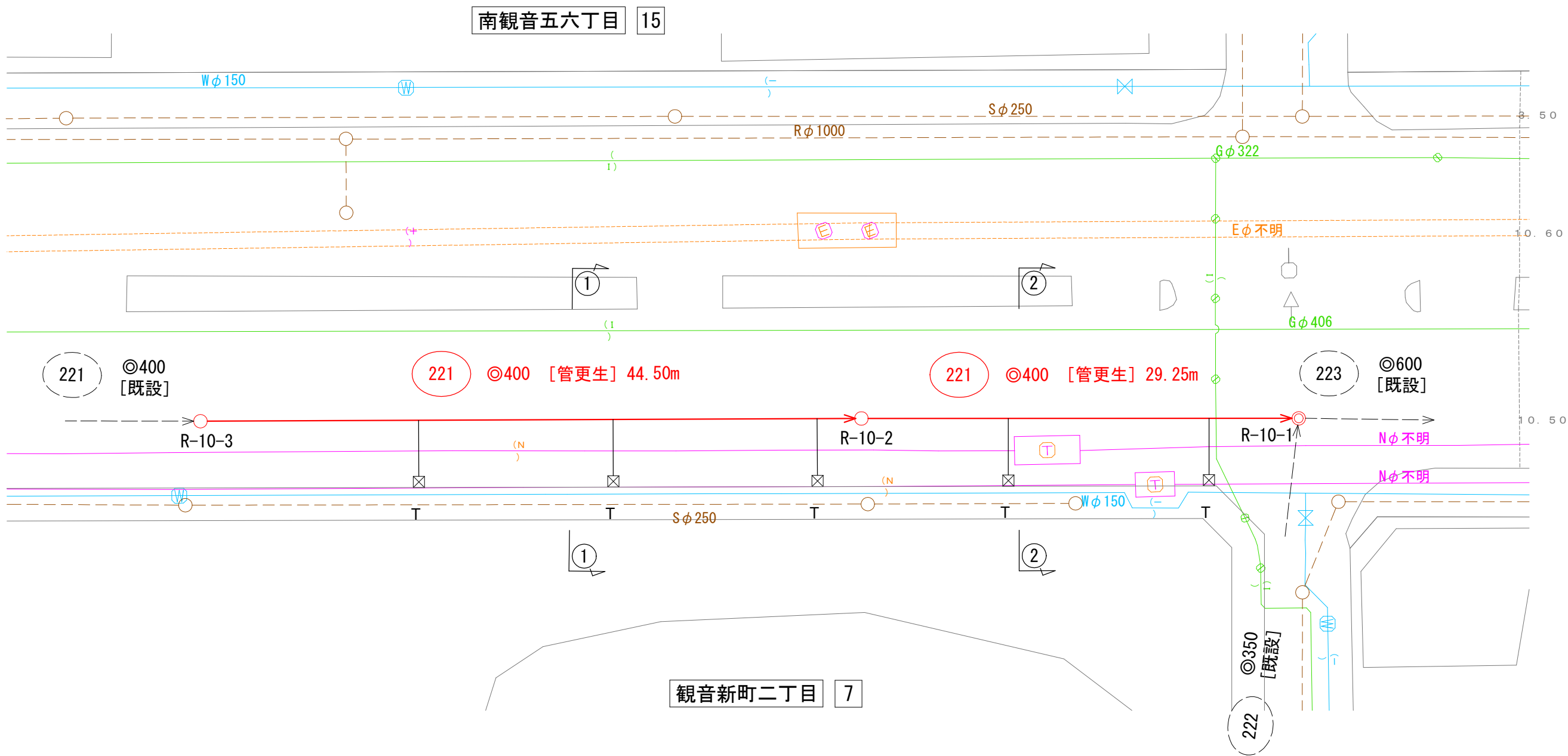
No. 10計

広島市下水道局施設部管路課



施工箇所

〔参考図〕 雨水平面図 S=1/300

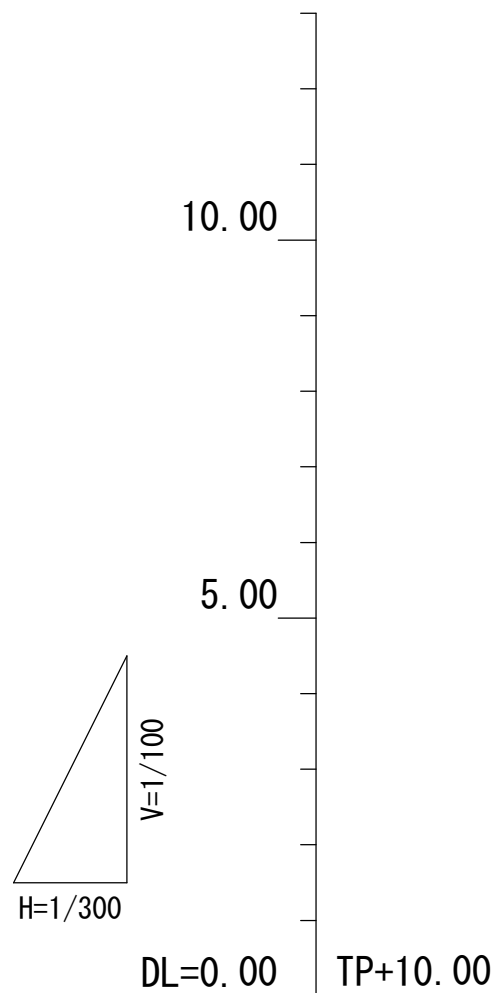


縦断面図 V=1/100
H=1/300

補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

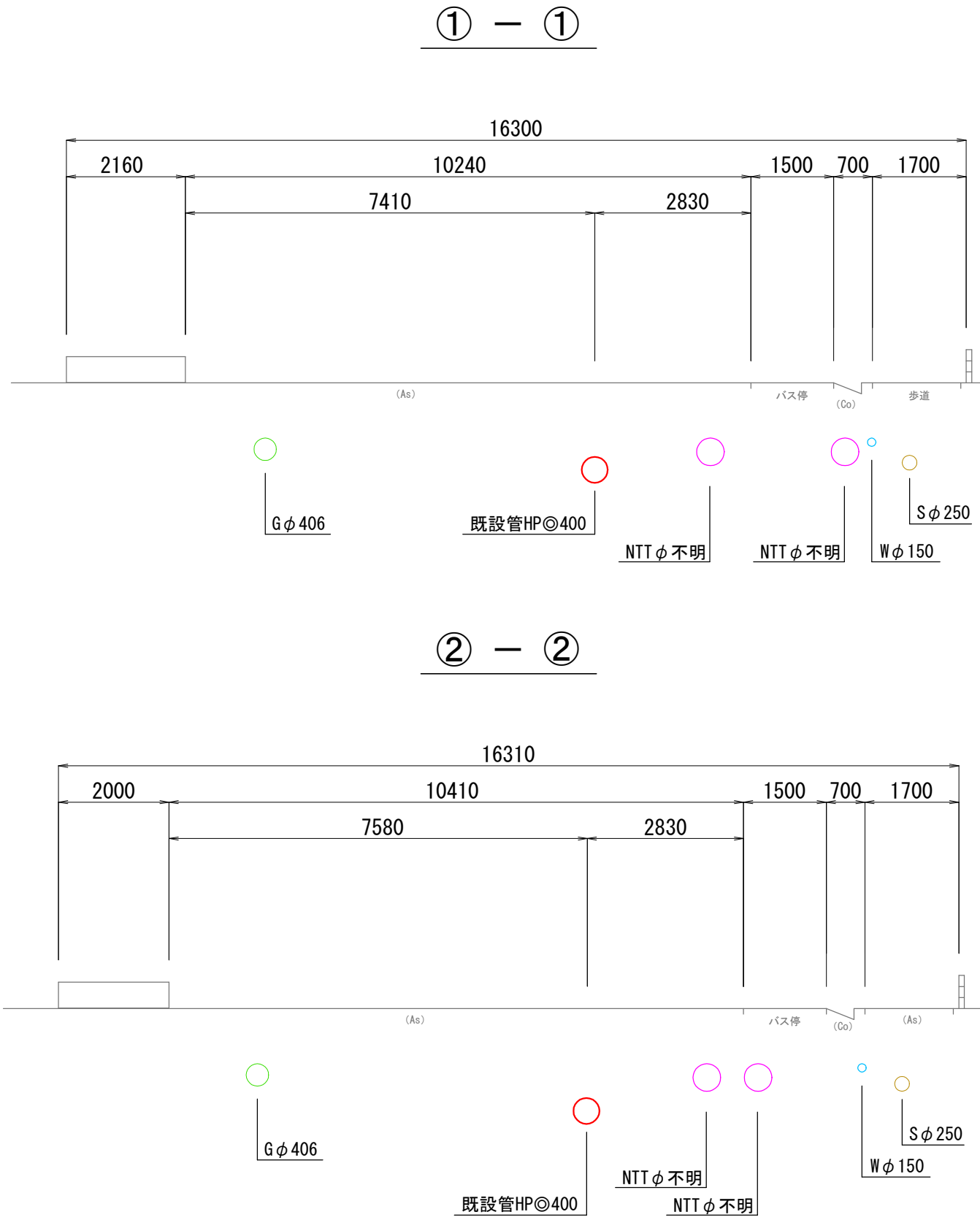
マンホール	凡	例
○	1号マンホール	● 特1号マンホール
◎	2号マンホール	● 特2号マンホール
◎	3号マンホール	● 特3号マンホール
◎	4号マンホール	● 特4号マンホール
◎	5号マンホール	● 組立0号マンホール
◎	6号マンホール	◎ 組立1号マンホール
◎	7号マンホール	◎ 組立2号マンホール
◎	8号マンホール	◎ 組立3号マンホール
◎	9号マンホール	◎ 掃除口
◎	角4号マンホール	◎ 塩ビ製マンホール
◎	角5号マンホール	◎ 特殊マンホール

凡	例
——	雨水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++——	樹不明取付
☒——	雨水取付(既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	NTTケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管



管	径	mm			
勾配	‰				
区間距離	m				
地盤高	〃				
土被り	〃				
管底高	〃				
掘削深	〃				
追加距離	〃				

横断図 S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	バグン除去	侵入水処理	副管部削孔工
R-10-1~R-10-2	2	2	1(20cm)	—	—	—	—
R-10-2~R-10-3	3	3	1(5cm) 1(20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

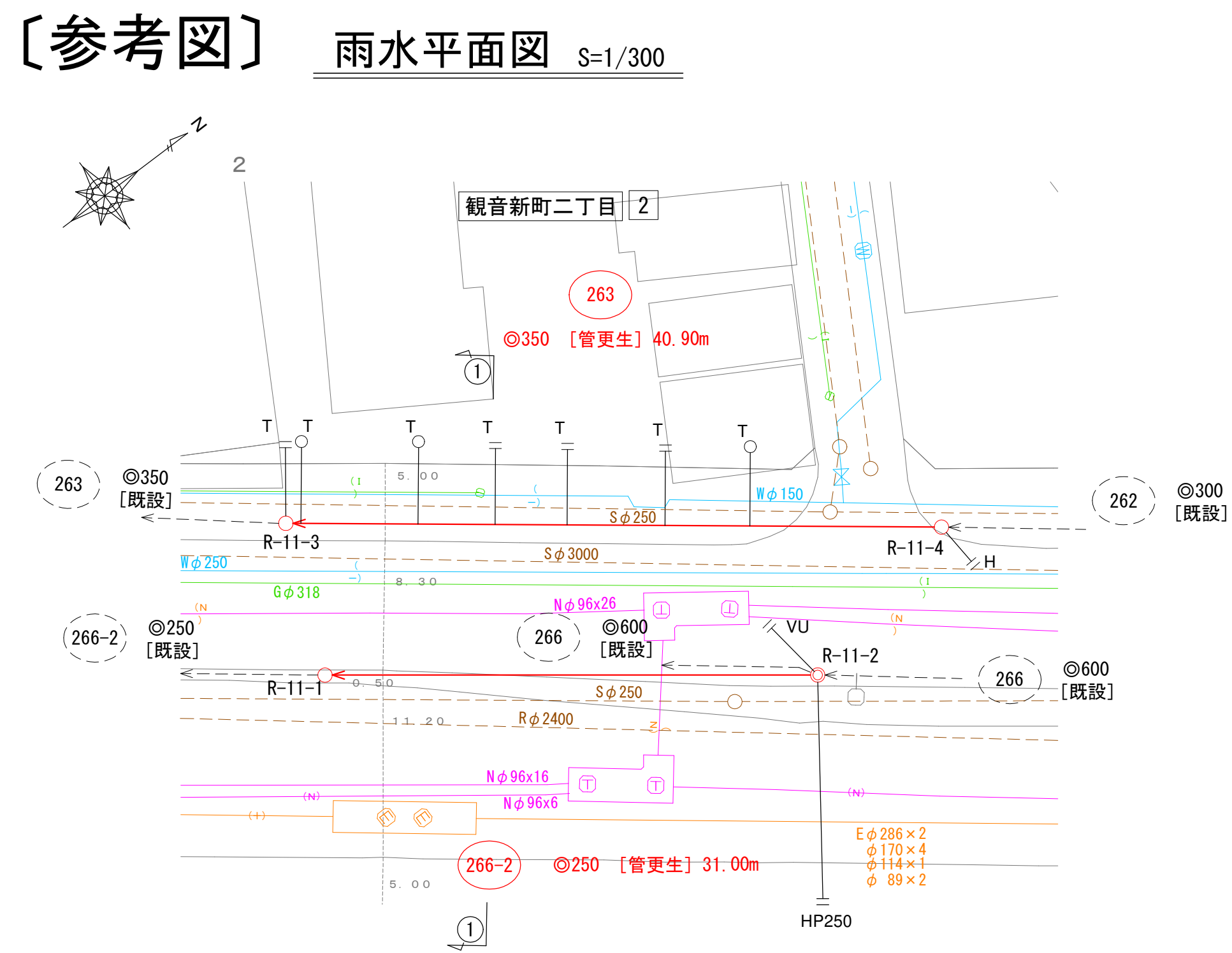
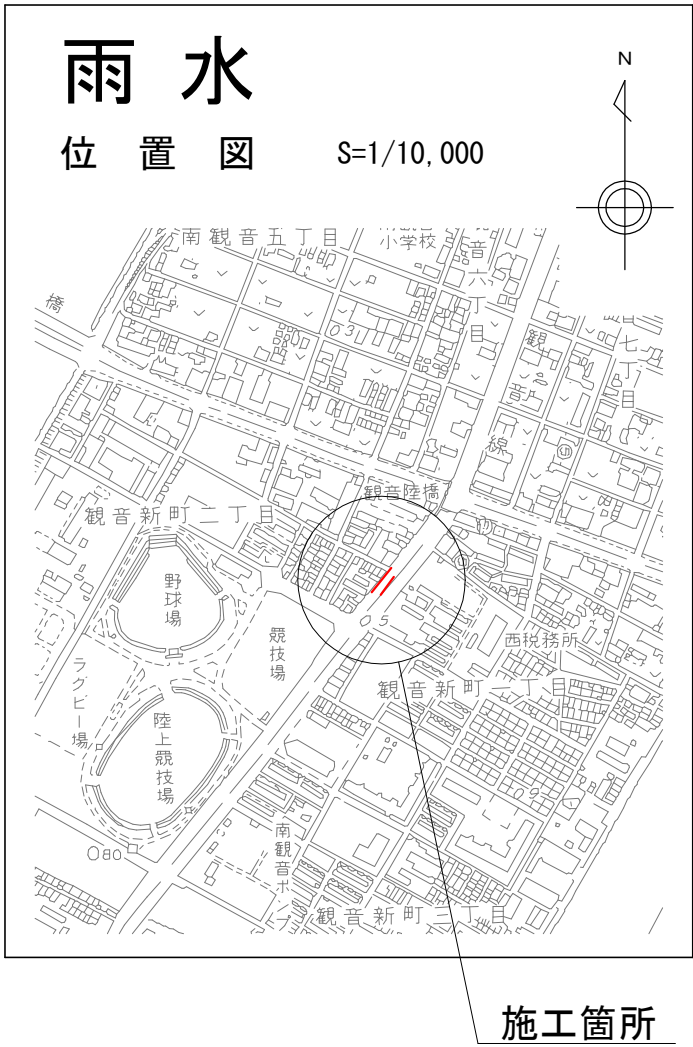
設計

写図

図番

No. 11

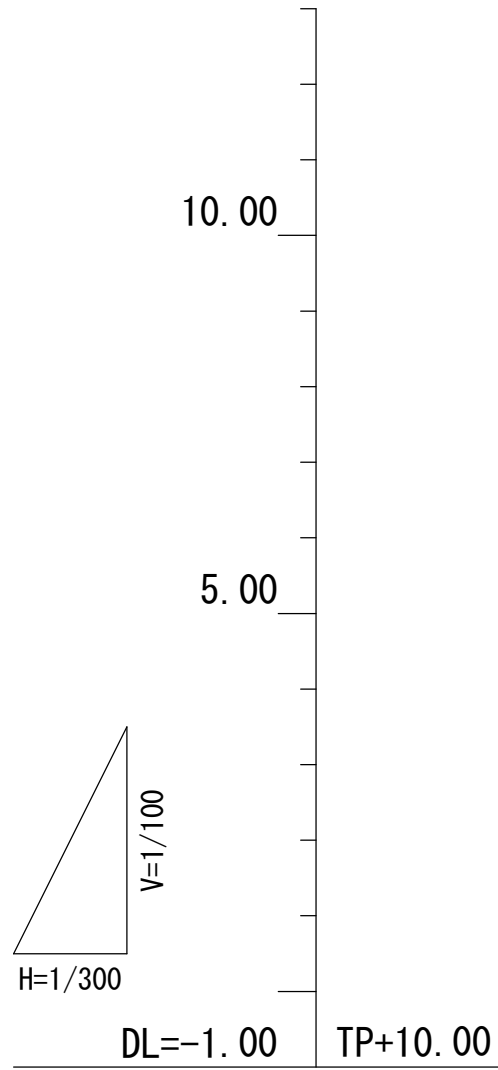
広島市下水道局施設部管路課



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	● 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	● 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	● 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	● 組立1号マンホール
⊘ 7号マンホール	● 組立2号マンホール
⊙ 8号マンホール	● 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	● 掃除口
⊗ 角4号マンホール	● 塩ビ製マンホール
⊘ 角5号マンホール	● 特殊マンホール

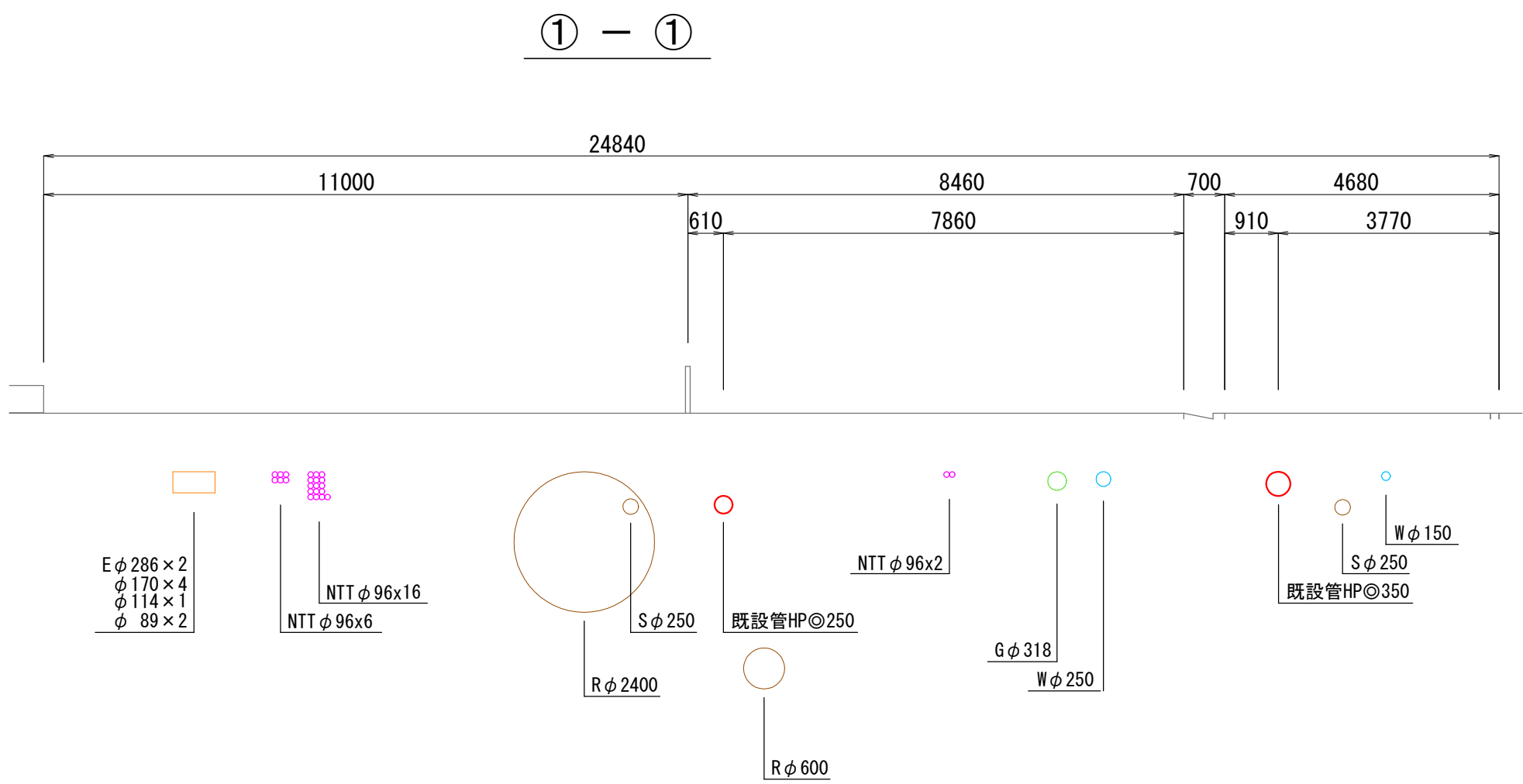
凡 例	
——	雨水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++——	樹不明取付
⊗	雨水取付(既設)
●	汚水樹取付
○	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管



管	径	mm			
勾配	‰				
区間距離	m				
地盤高	〃				
土被り	〃				
管底高	〃				
掘削深	〃				
追加距離	〃				

横断図

S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管)、H表示(ヒューム管)、VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
- (ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部削孔工	取付管突出し	モルタル等除去	木の根侵入	パッキン除去	侵入水処理	副管部削孔工
R-11-1～R-11-2	—	—	2(5cm) 1(20cm)	1	—	—	—
R-11-3～R-11-4	6	2	3(5cm) 1(20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

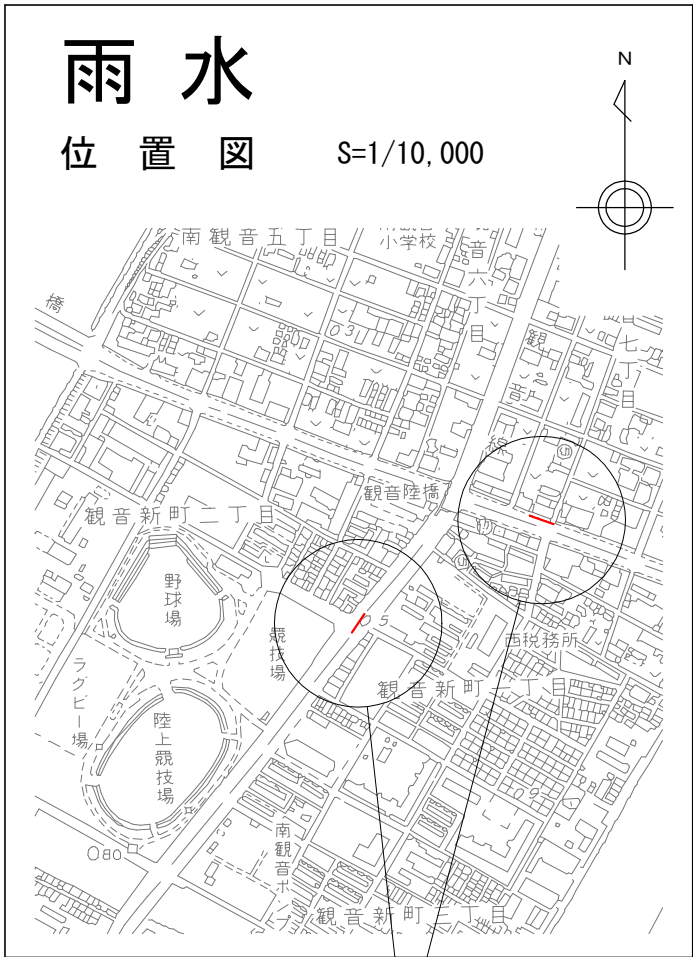
設計

写図

図番

No. 12

広島市下水道局施設部管路課



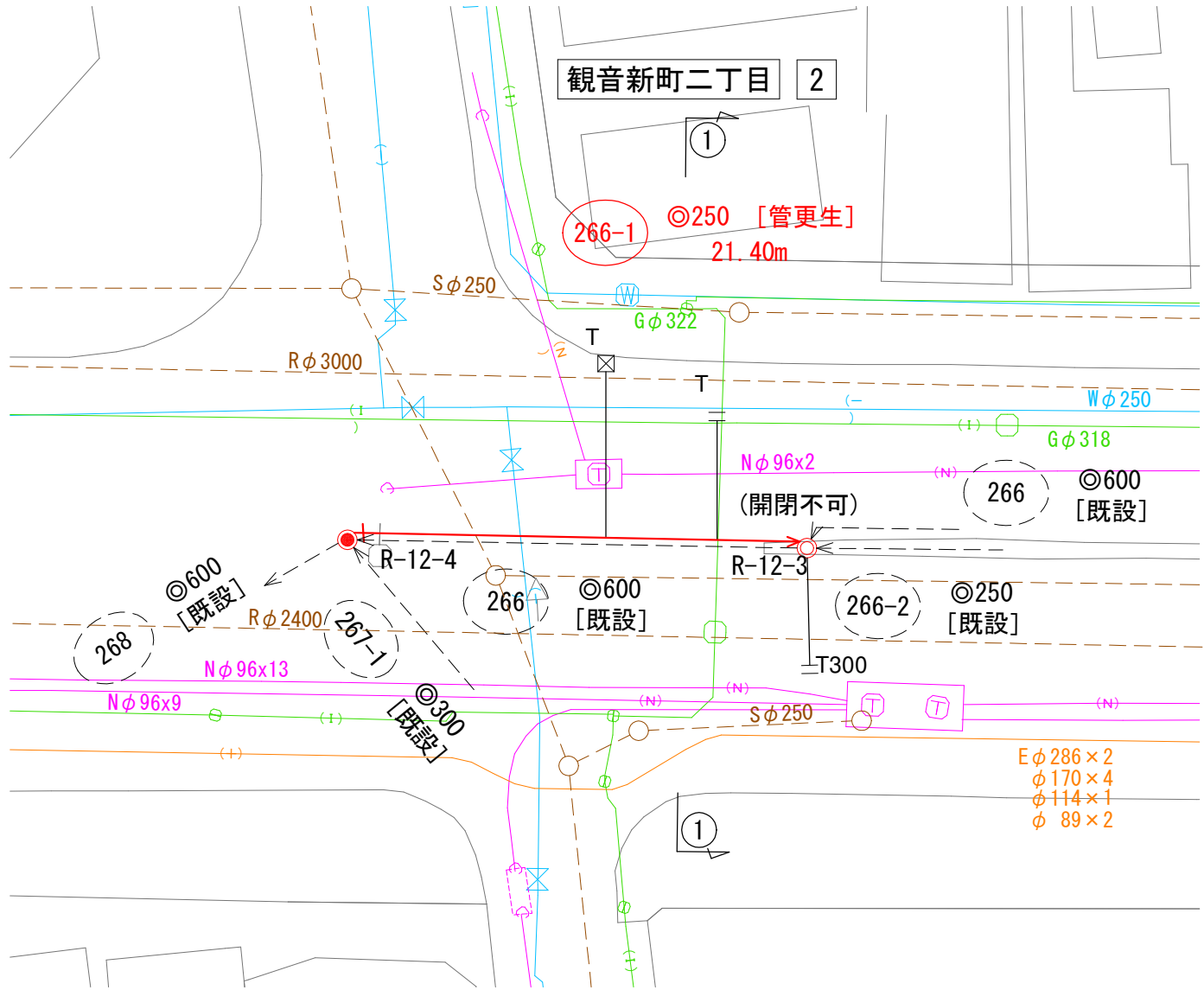
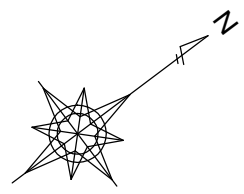
施工箇所

補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

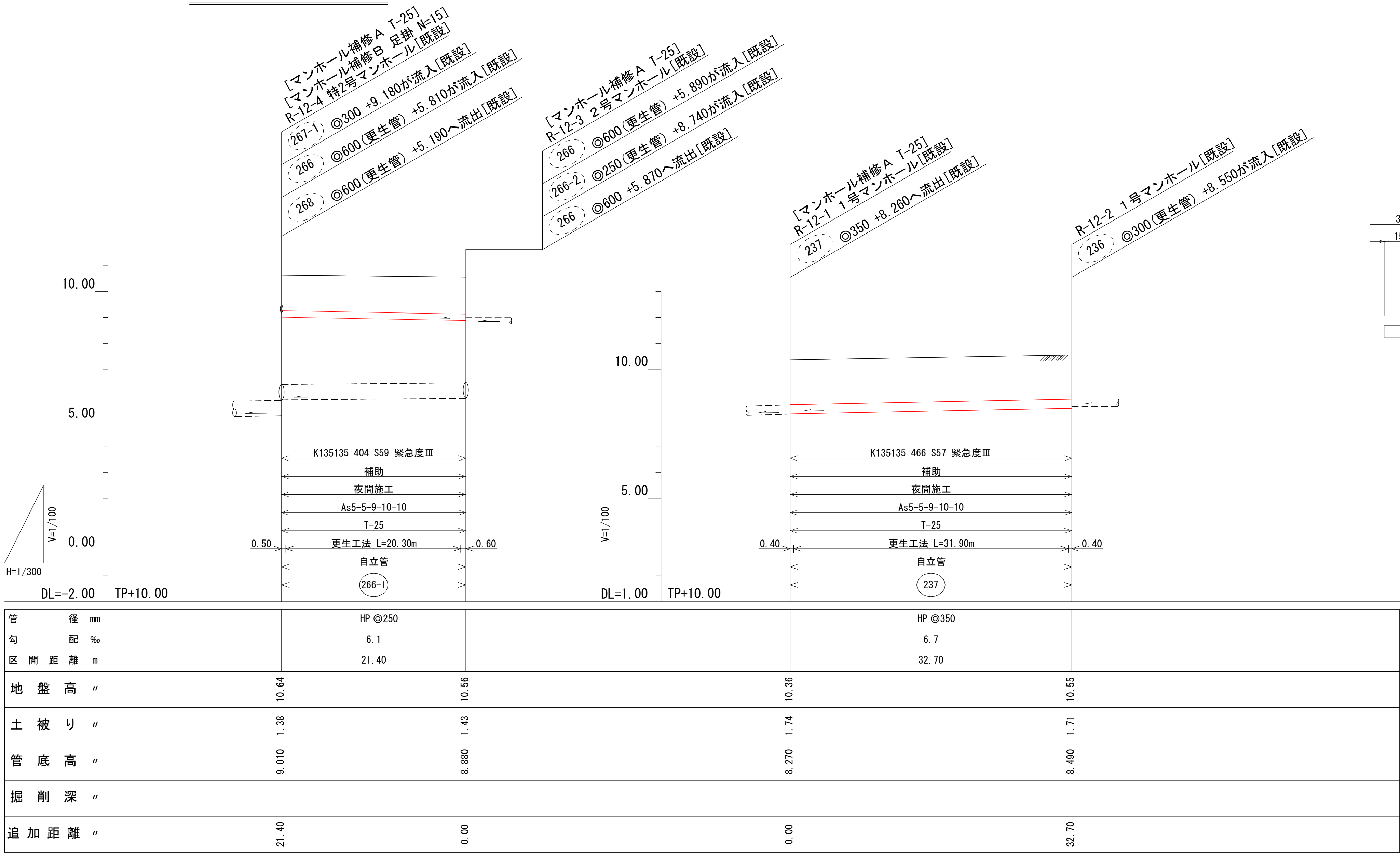
マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	⦿ 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	⦿ 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	⦿ 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	⦿ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⦿ 組立1号マンホール
⊘ 7号マンホール	⦿ 組立2号マンホール
⊙ 8号マンホール	⦿ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	⦿ 掃 除 口
⊖ 角4号マンホール	⦿ 塩ビ製マンホール
⊗ 角5号マンホール	⦿ 特殊マンホール

凡 例	
——	雨水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++——	樹不明取付
⊗——	雨水取付 (既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←●	外副管
○←○	内副管

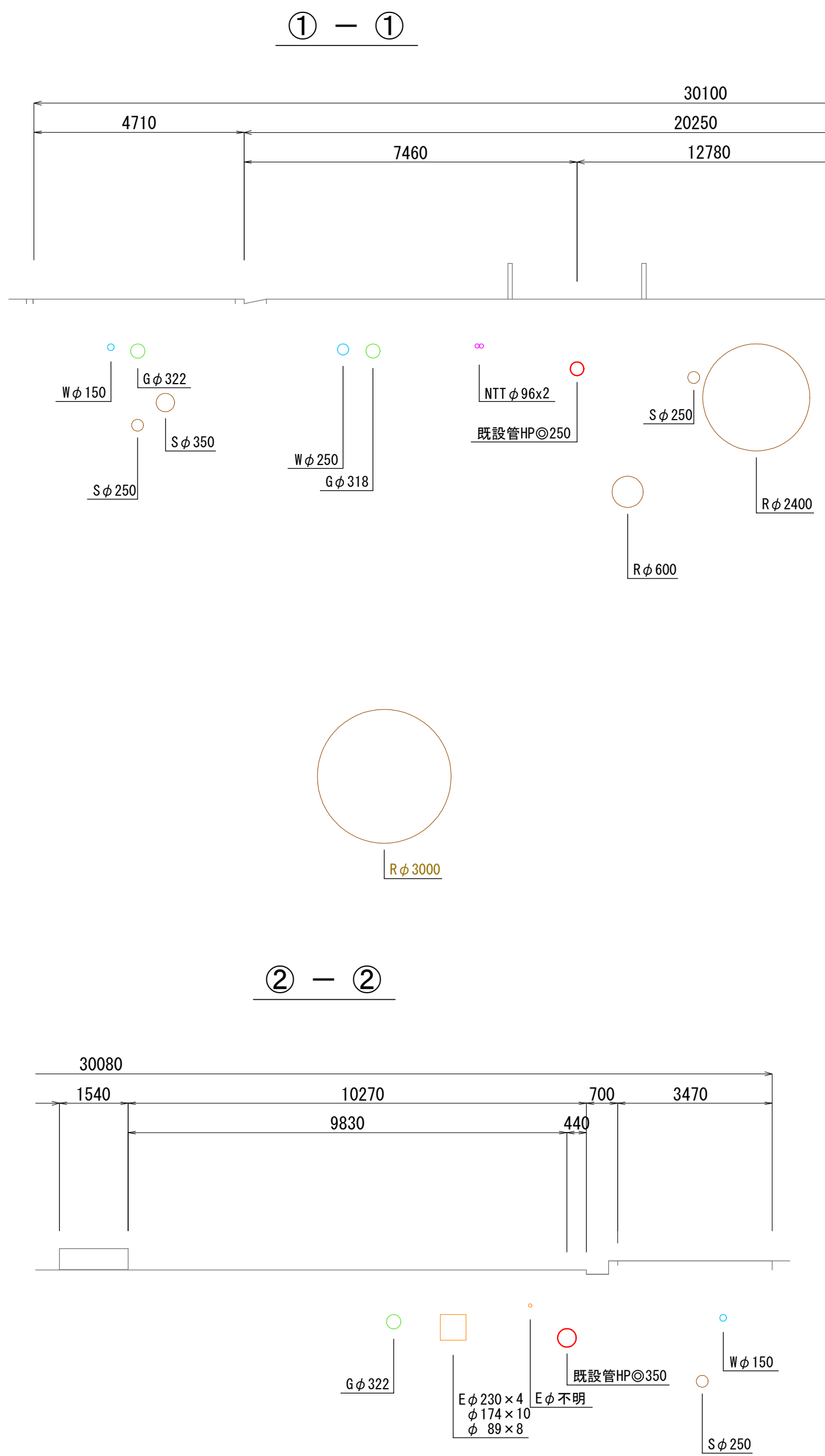
〔参考図〕 雨水平面図 S=1/300



縦断面図 V=1/100 H=1/300



横断図 S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵 入	パ ッ ン 除 去	侵入水 処 理	副管部 削孔工
R-12-1～R-12-2	3	1	3 (5cm) 1 (20cm)	—	—	—	—
R-12-3～R-12-4	2	2	2 (5cm) 1 (20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

写図

図番

No. 13

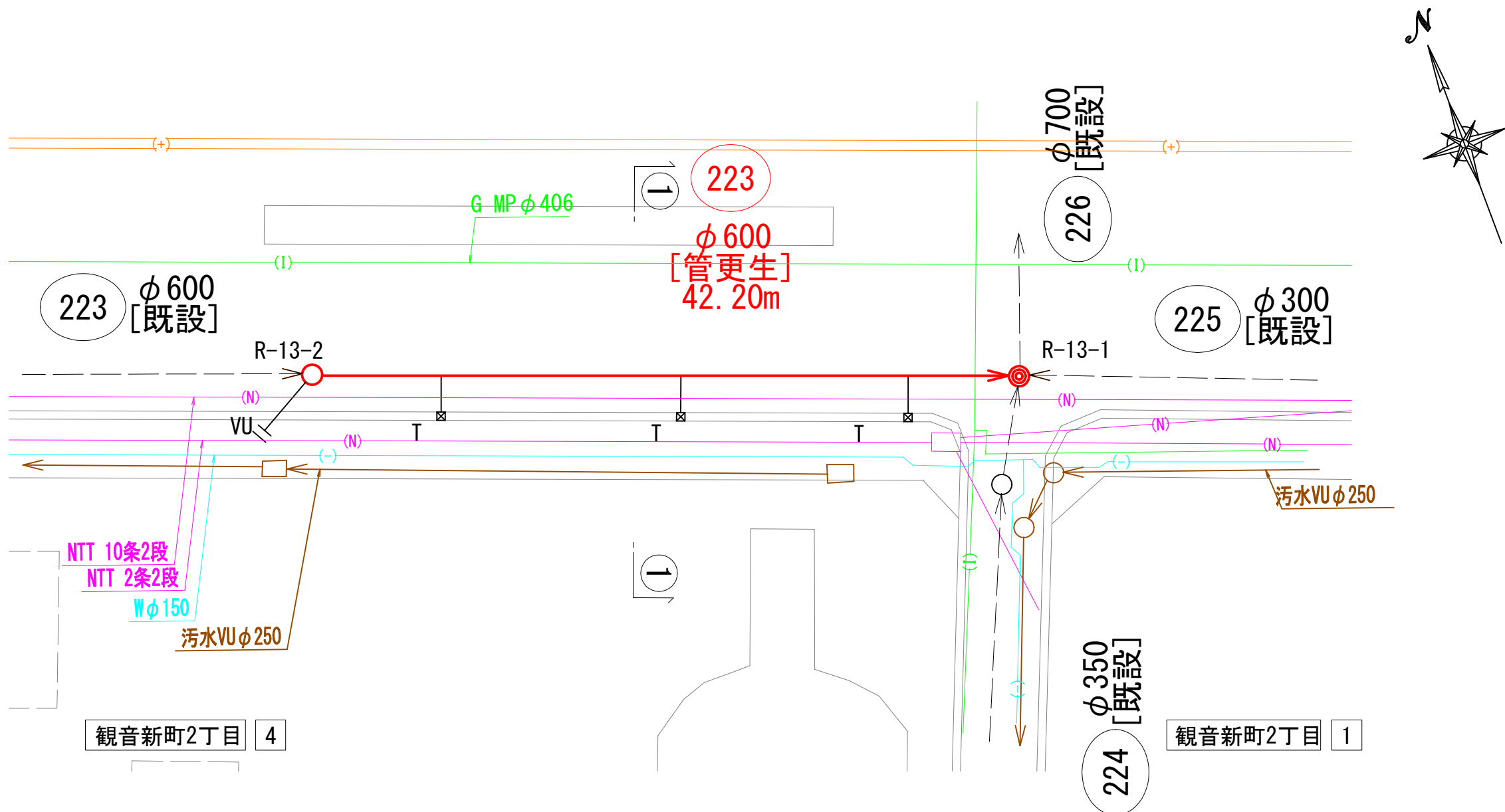
計

広島市下水道局施設部管路課

〔参考図〕

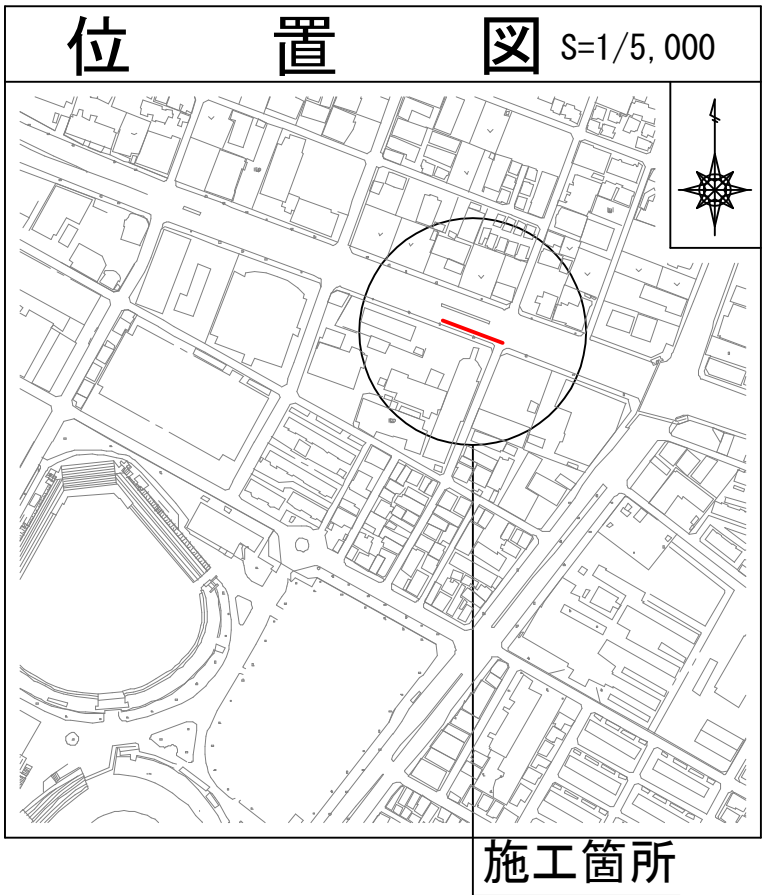
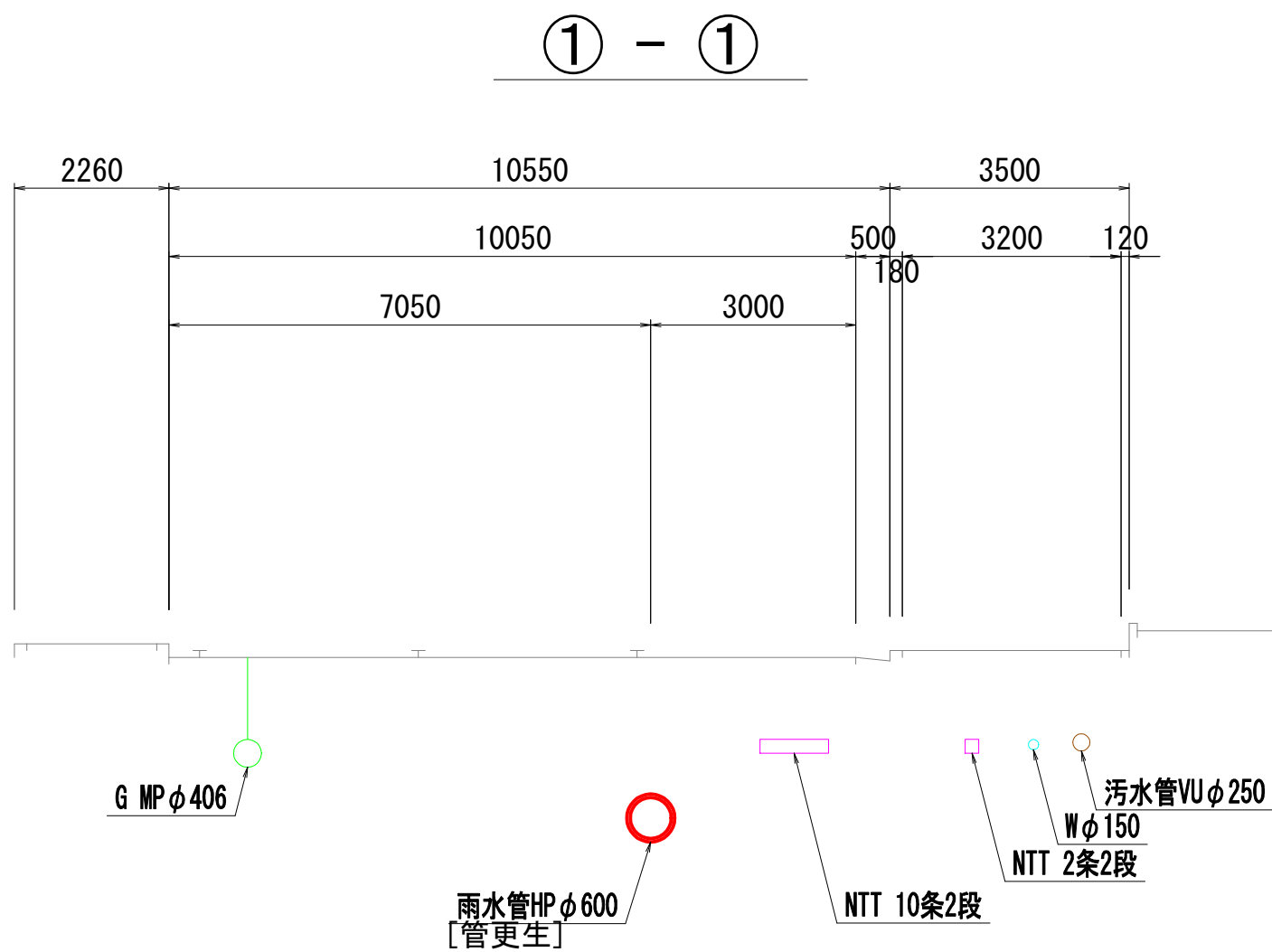
雨 水 平 面 図

S=1/300



横 断 図

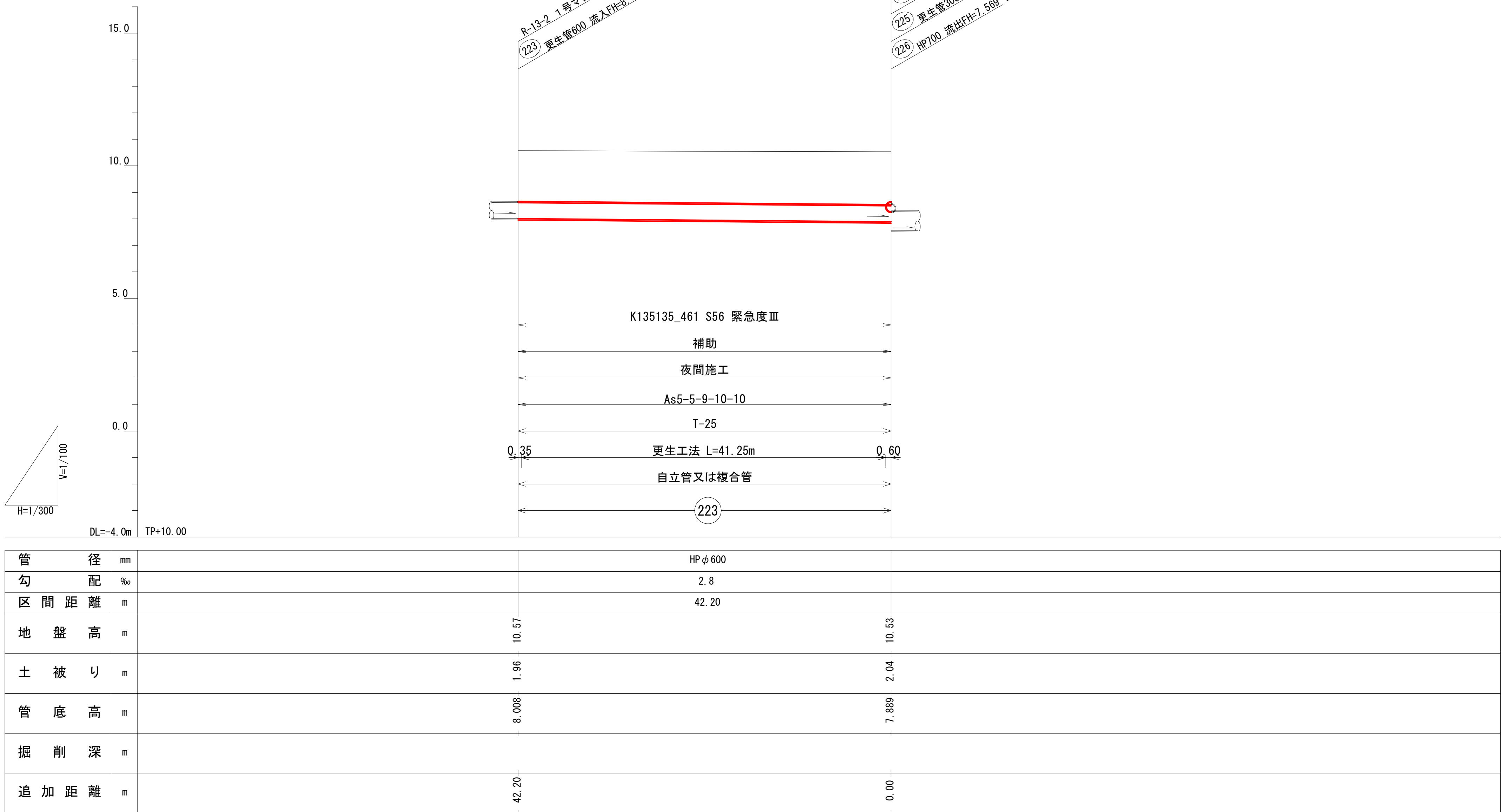
S=1/100



施工箇所

縦 断 図

V=1/100
H=1/300



補 修 凡 例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	⊙ 特2号マンホール
⊗ 3号マンホール	⊕ 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	■ 特4号マンホール
⊙ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊕ 組立1号マンホール
⊖ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
⊗ 8号マンホール	⊕ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	⊖ 掃 除 口
⊖ 角4号マンホール	⊕ 塩ビ製マンホール
⊖ 角5号マンホール	⊖ 特殊マンホール

凡 例	
——	雨水実施
----	合流既設
----	汚水既設
----	雨水計画
----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——+——	雨水同一施工
——	樹不明取付
☒——	雨水取付 (既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(I)	ガス管
——(N)	NTTケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←	内副管

- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵入	パッキン 除去	侵入水 処理	副管部 削孔工
R-13-1～R-13-2	3	2	2 (20cm) 3 (40cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

設計

写図

図番

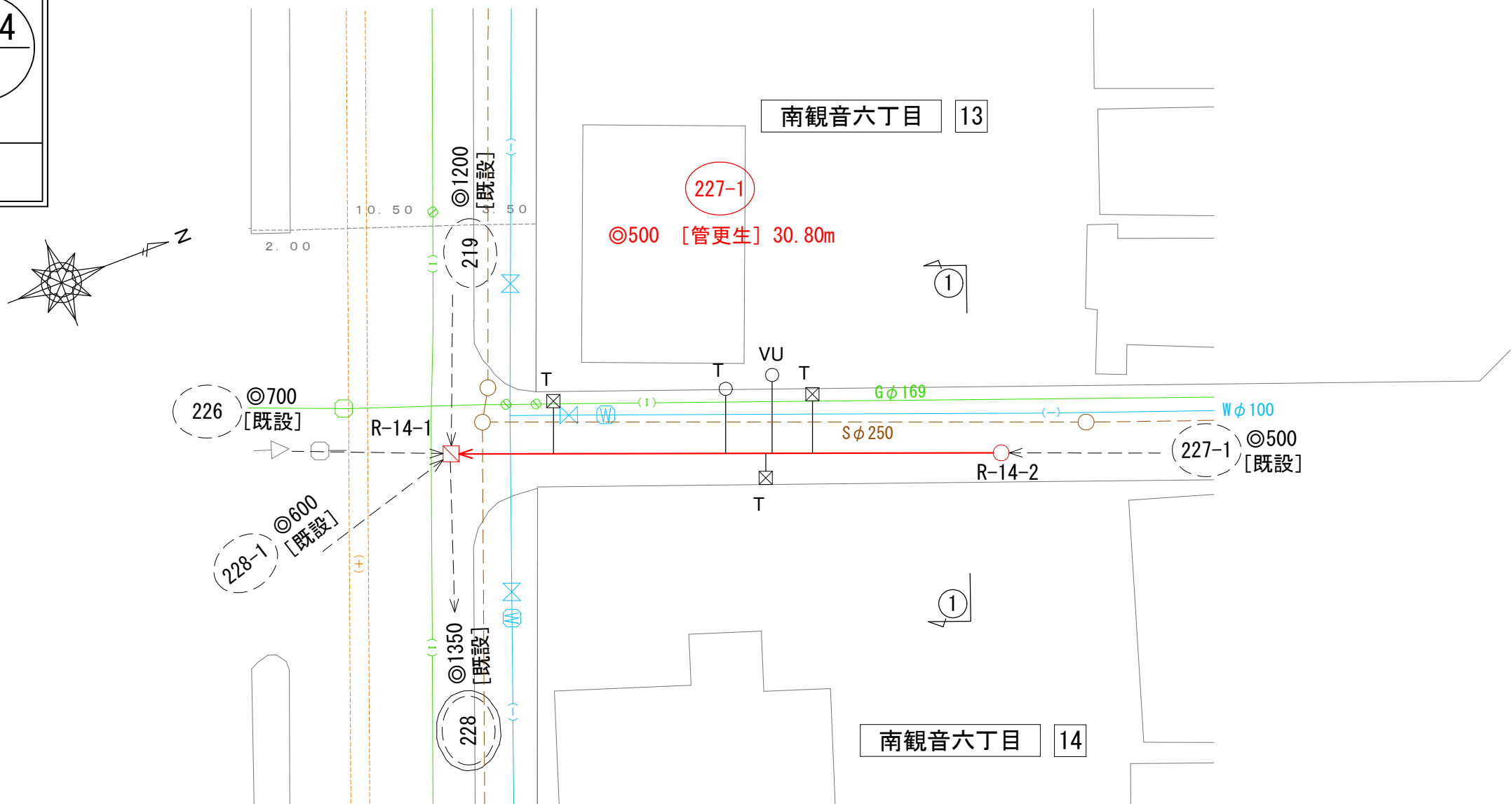
No. 14

広島市下水道局施設部管路課

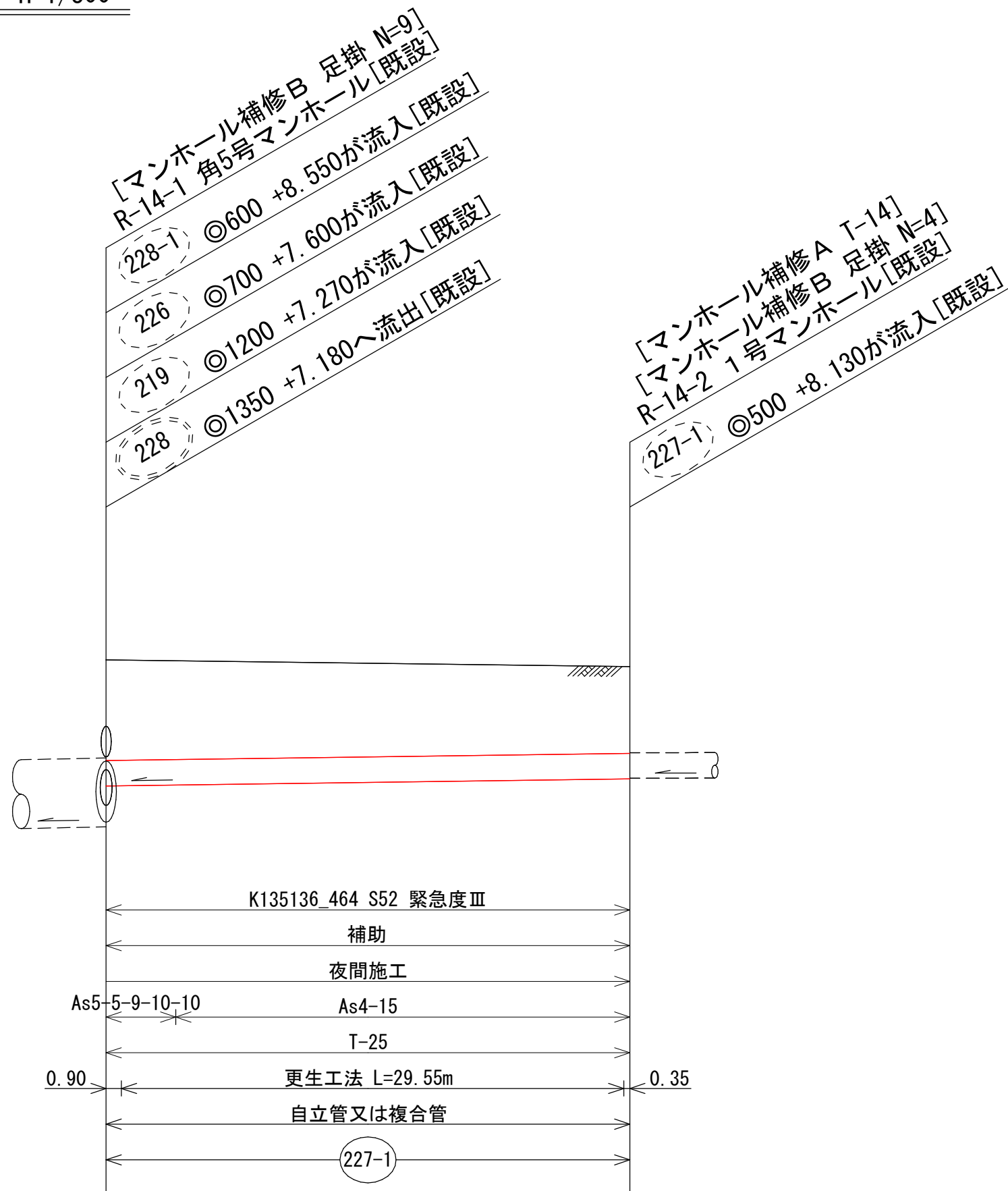


施工箇所

〔参考図〕 雨水平面図 S=1/300



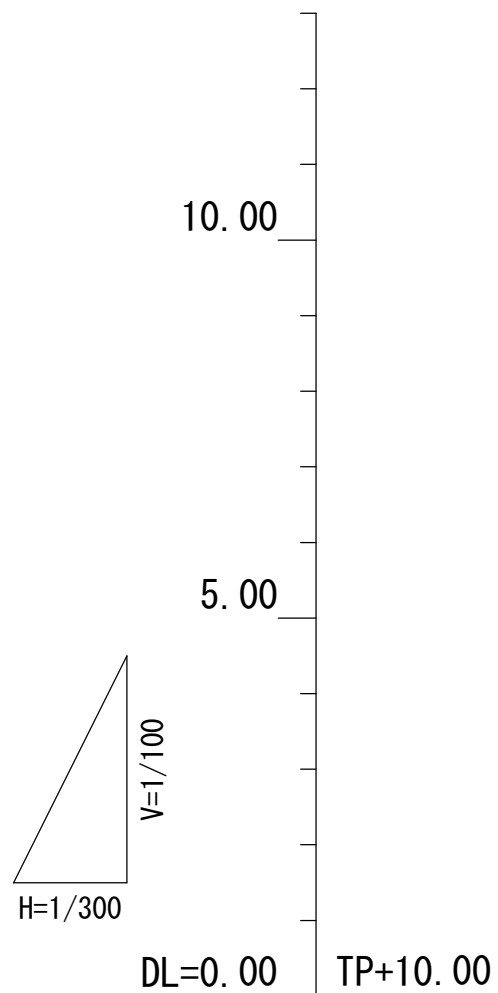
縦断面図 V=1/100
H=1/300



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

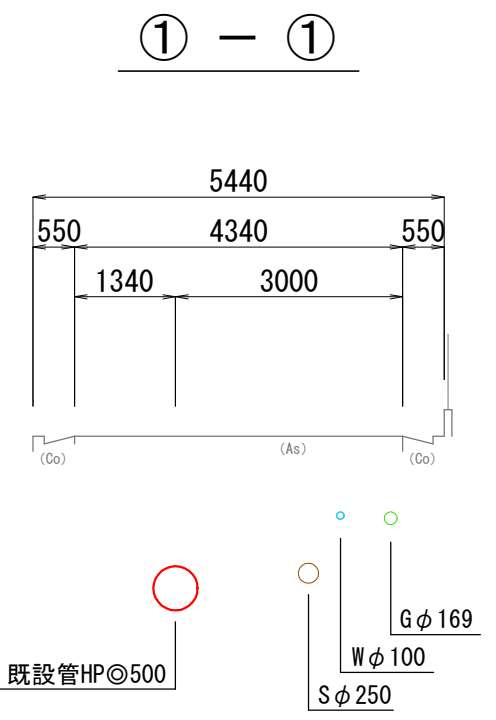
マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	● 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	■ 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊙ 組立1号マンホール
⊠ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
□ 8号マンホール	⊙ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	● 掃除口
□ 角4号マンホール	● 塩ビ製マンホール
⊠ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡 例	
——	雨水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——++——	雨水同一施工
++——	樹不明取付
⊠——	雨水取付(既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T Tケーブル
——(+)	中電ケーブル
○<●——	外副管
○<●——	内副管



管	径	mm			
勾配	‰				
区間距離	m				
地盤高	〃		10.45		10.32
土被り	〃		1.97		1.70
管底高	〃		7.980		8.120
掘削深	〃				
追加距離	〃		0.00		30.80

横断面図 S=1/100



- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉, H閉, VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示(陶管), H表示(ヒューム管), VU表示(塩ビ管)の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取付管 突出し	モルタル 等除去	木の根 侵入	パッキン 除去	侵入水 処理	副管部 削孔工
R-14-1~R-14-2	5	4	3(5cm) 1(20cm)	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

製図年月日

R06 . 10

課長

係長

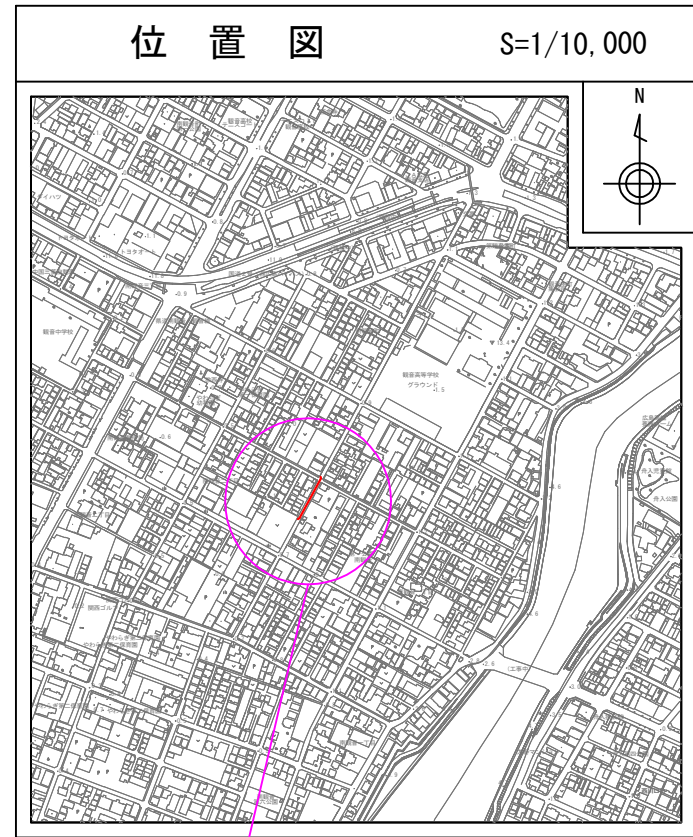
設計

写図

図番

No. 15計

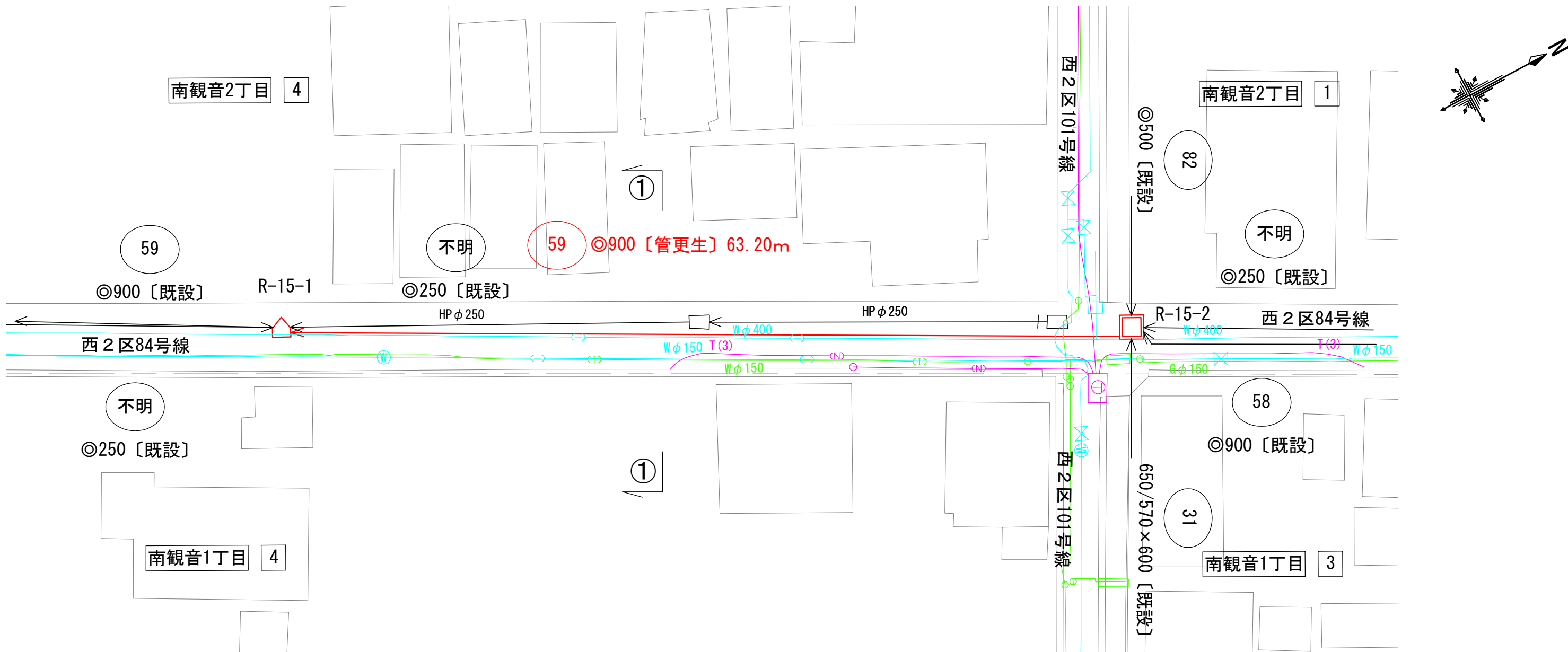
広島市下水道局施設部管路課



施工箇所

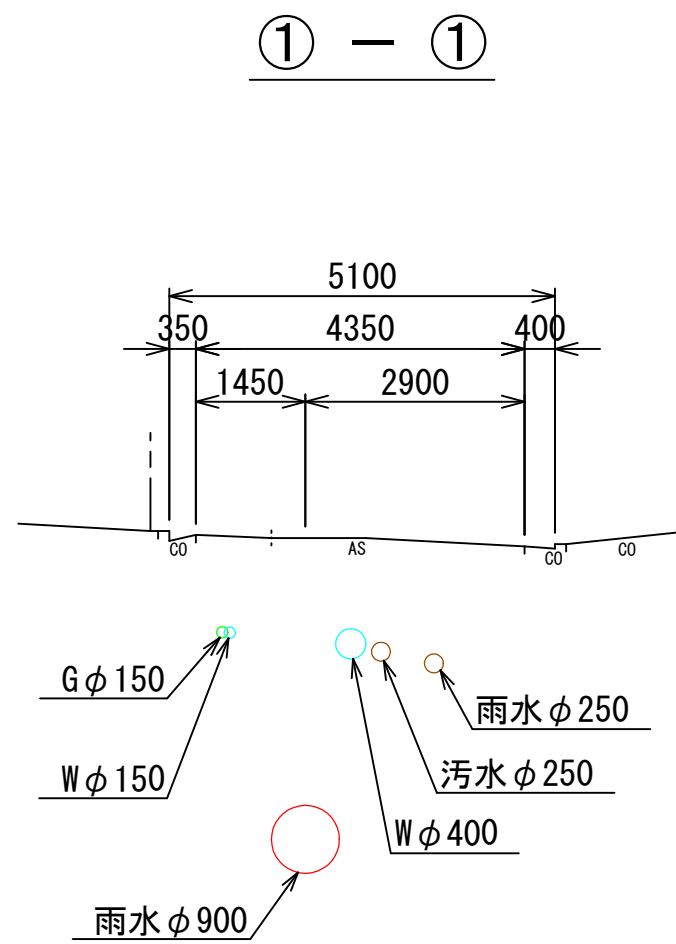
〔参考図〕

雨水平面図 S=1/300



縦断図 V=1/100
H=1/300

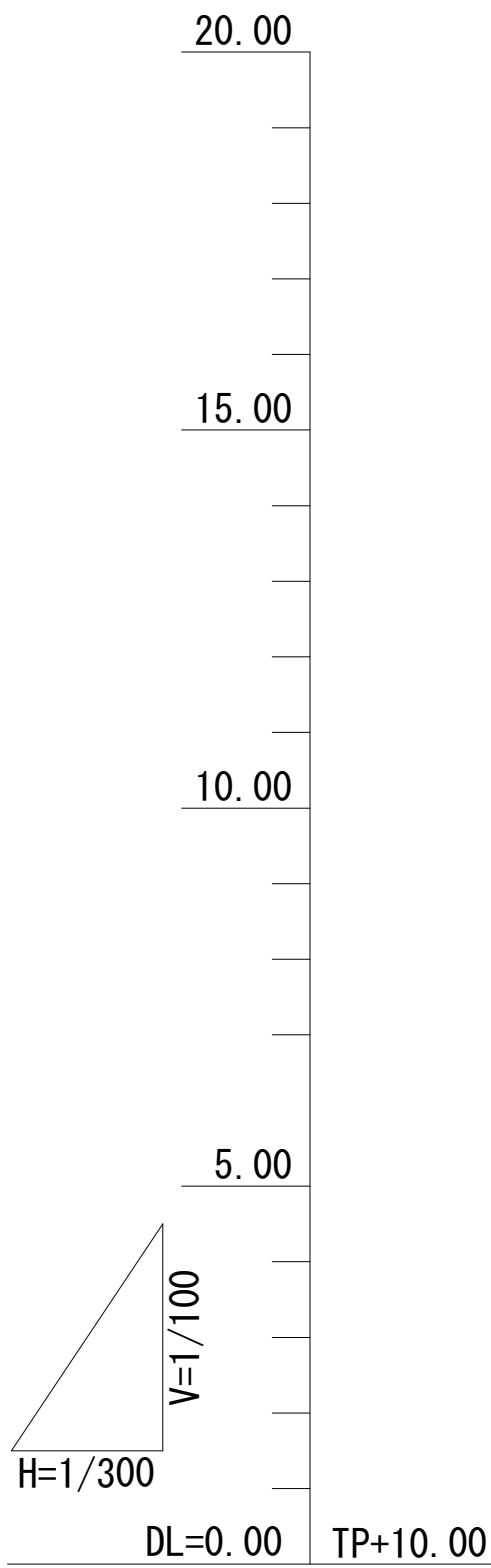
横断図 S=1/100



補修凡例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替 (幅300mm)
マンホール補修C	インバート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例	
○ 1号マンホール	● 特1号マンホール
◎ 2号マンホール	● 特2号マンホール
⊙ 3号マンホール	● 特3号マンホール
⊖ 4号マンホール	■ 特4号マンホール
⊕ 5号マンホール	▲ 組立0号マンホール
⊗ 6号マンホール	⊙ 組立1号マンホール
⊘ 7号マンホール	⊙ 組立2号マンホール
□ 8号マンホール	⊙ 組立3号マンホール
⊕ 9号マンホール	● 掃 除 口
□ 角4号マンホール	⊙ 塩ビ製マンホール
⊗ 角5号マンホール	△ 特殊マンホール

凡	例
——	雨水実施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	汚水計画
-----	雨水計画
——++——	汚水同一施工
——+——	雨水同一施工
——	樹不明取付
☒——	雨水取付 (既設)
●——	汚水樹取付
○——	宅地内雨水
——(—)	水道管
——(1)	ガス管
——(N)	N T T ケーブル
——(+)	中電ケーブル
○←	外副管
○←●	内副管



管 径 (mm)	SHPφ900	
勾 配 (%)	0.0	
区間距離 (m)	63.20	
地 盤 高 (m)	78 10.78	71 10.71
土 被 り (m)	3.32	3.25
管 底 高 (m)	6.468	6.468
掘 削 深 (m)		
追加距離 (m)	0.00	63.20

- ※ 縮尺はA 1出力時を示す。
- ※ 取付管の使用状況を確認し削孔等の作業を行うこと。
- ※ T閉、H閉、VU閉表示の取付管は削孔を計上しない。
- ※ T表示 (陶管)、H表示 (ヒューム管)、VU表示 (塩ビ管) の取付管は削孔処理のみとしている。
(ただし、接続先がマンホールの場合は削孔処理を行わない)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮していない。(管径800mm未満)
- ※ 土被りは既設管厚を考慮している。(管径800mm以上)
- ※ 管底高は既設管を示す。
- ※ 取付管径の表記がない場合はφ150mmとする。
- ※ 標高表示はTP+10.0mとする。

位 置	取付部 削孔工	取 付 管 突出し	木等 除 去	木の根 侵 入	バツン 除 去	浸入水 処 理	副管部 削孔工
R-15-1～R-15-2	—	—	—	—	—	—	—

観音地区下水道改築6-41号工事

縮尺図示

課長係長設計写図

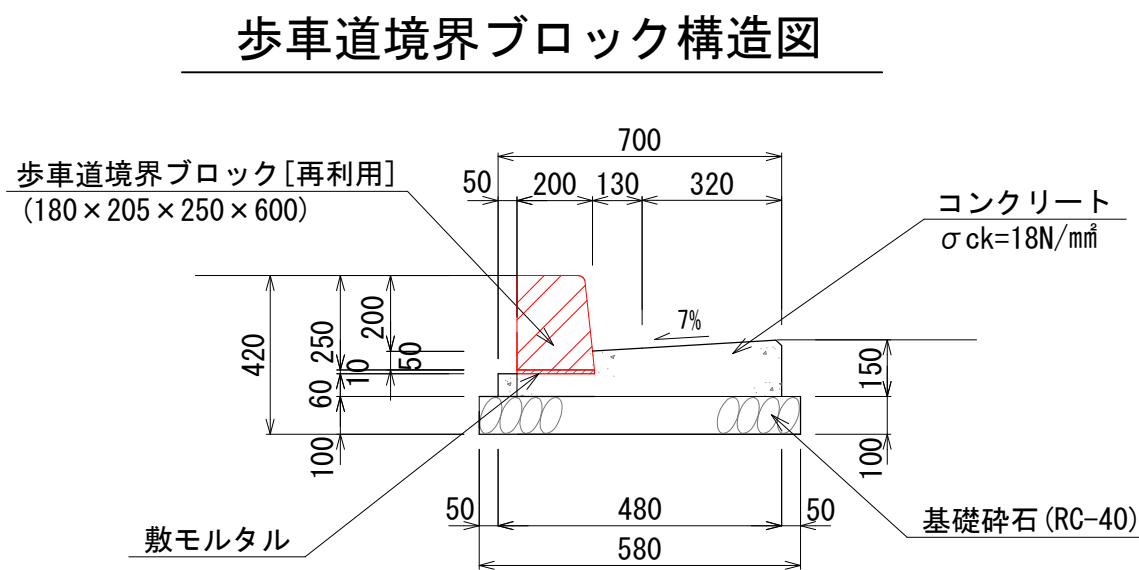
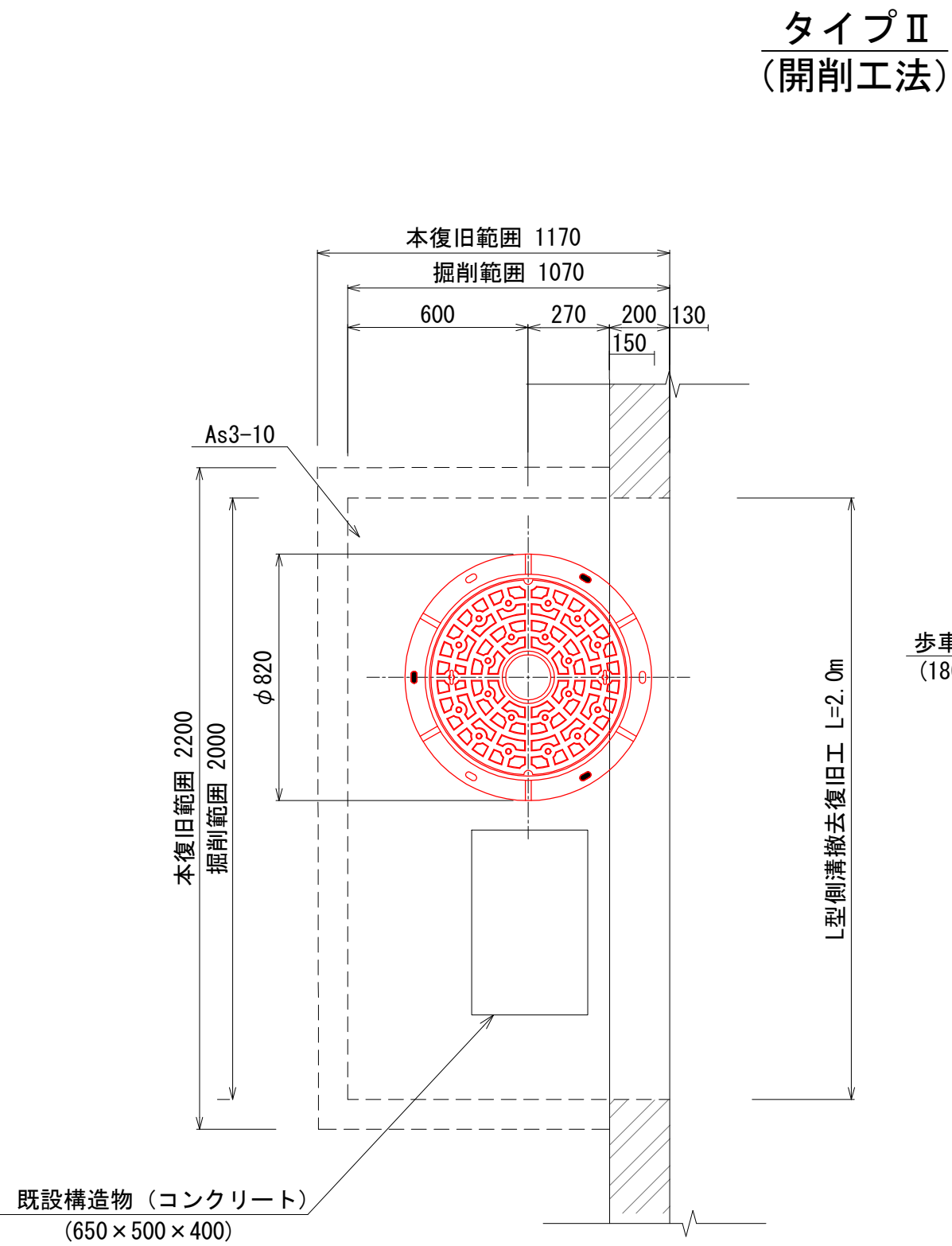
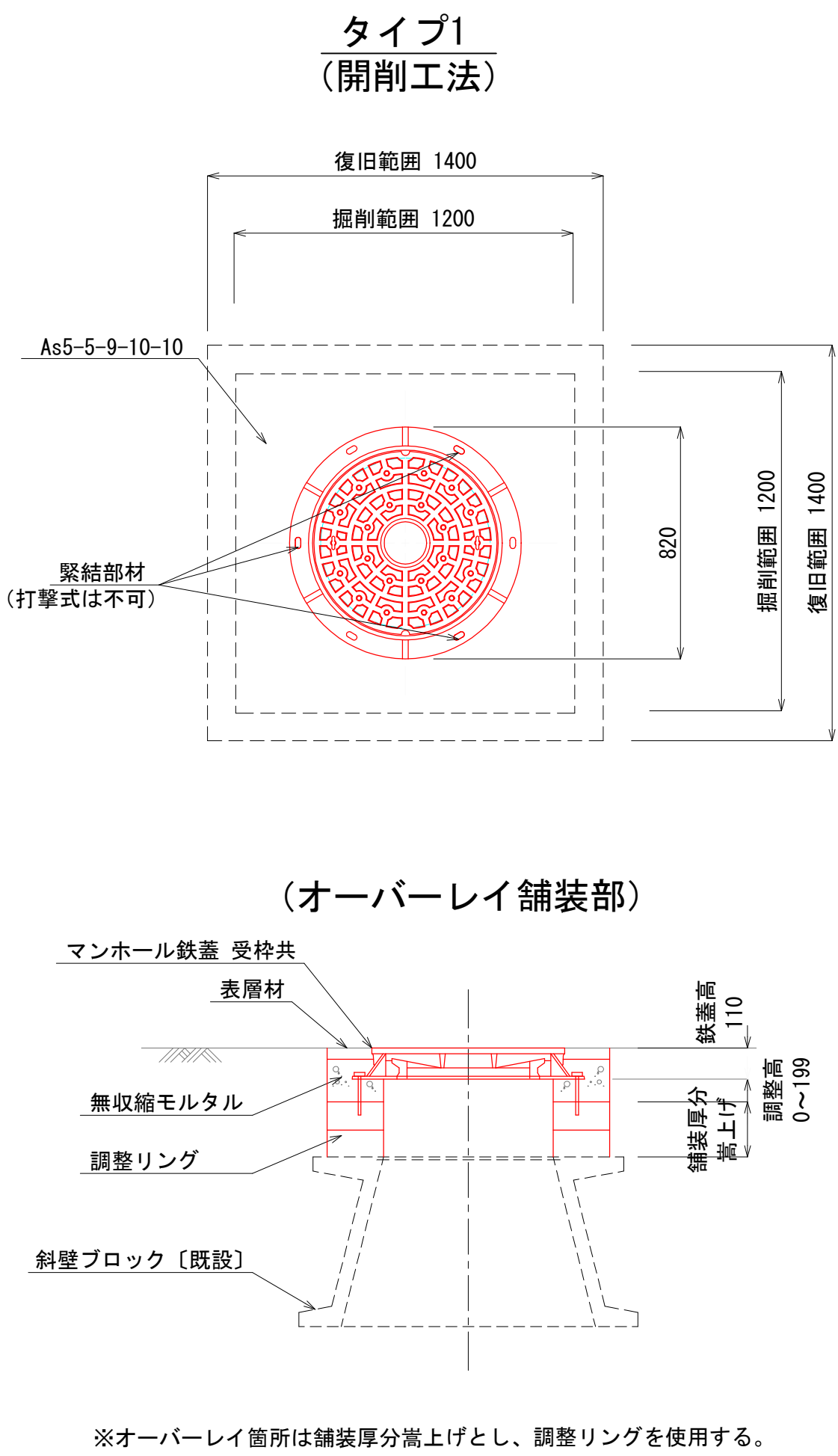
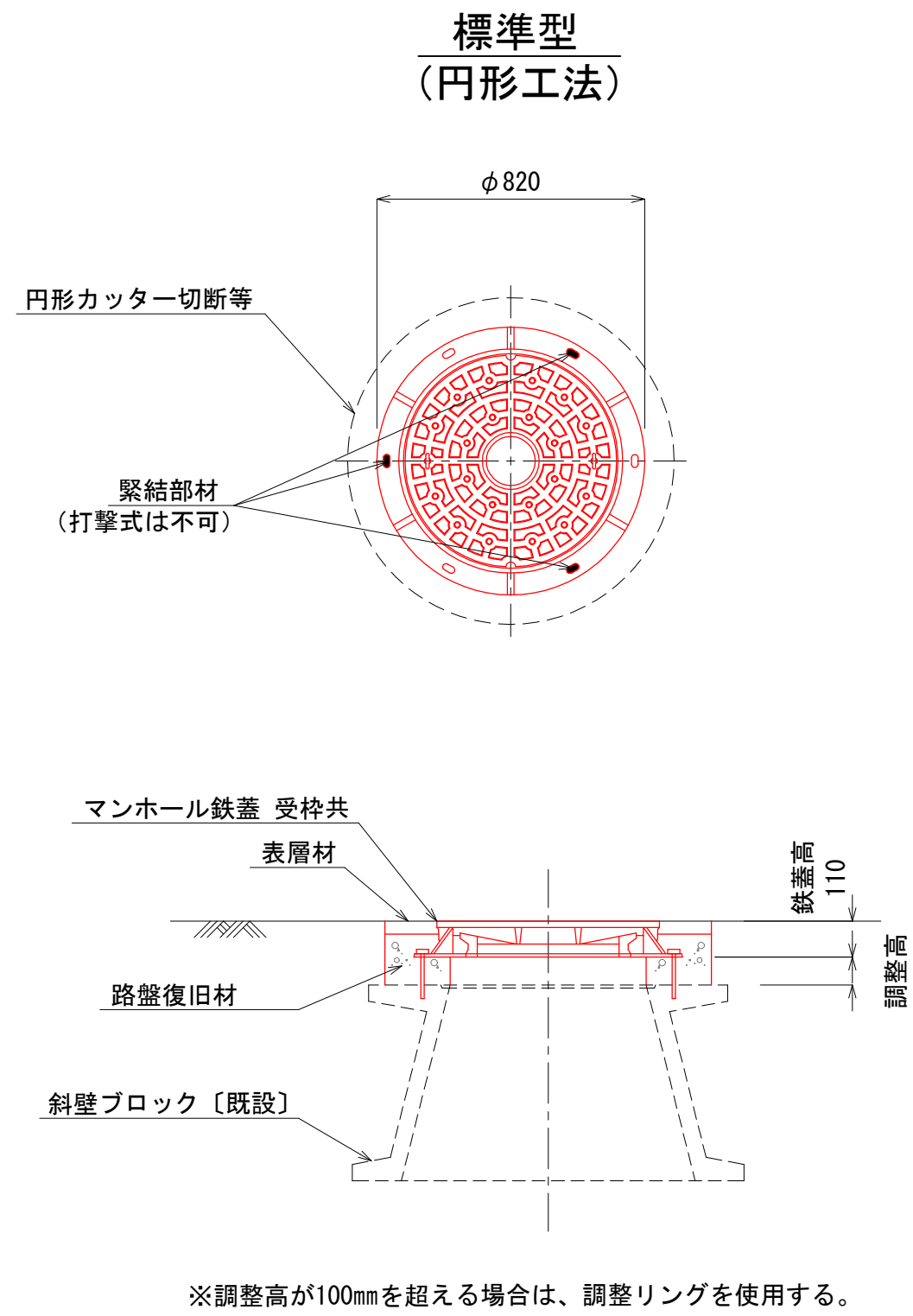
製図年月日R06. 10

図番No. 16計

広島市下水道局施設部管路課

〔参考図〕

マンホール補修工
マンホール補修A S=1:20
(マンホール鉄蓋取替工)



マンホール補修B
足掛金物詳細図 S=1:5
(後付けタイプ)

